

PMF 修了生へのアンケート調査結果

2020年3月

公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会

(調査委託:株式会社ニッセイ基礎研究所)

目次

調査目的等.....	1
(1) PMF への参加年.....	2
(2) 参加パート・コース.....	4
(3) PMF 参加時の音楽活動.....	6
(4) PMF 参加時の活動拠点.....	7
(5) 参加動機(複数回答).....	8
(6) 最重視した参加動機.....	10
(7) 期待した成果は得られたか.....	12
(8) 現在の音楽活動.....	13
(9) PMF 修了生が所属するオーケストラ等.....	15
(10) プロのオーケストラ等の奏者のポジション.....	19
(11) プロのオーケストラ等の奏者の年間出演回数.....	22
(12) プロのオーケストラ等の演奏会徴収の平均人数.....	23
(13) プロフィールへの PMF の記載.....	24
(14) 教え子や同僚の応募や参加.....	25
(15) 現在の活動拠点.....	26
(16) PMF の効果の度合い.....	27
(17) 若手音楽家に PMF への参加を勧めるか.....	28
(18) PMF 以外の教育音楽祭への参加経験.....	29
(19) PMF と他の教育音楽祭との評価の比較.....	30
(20) PMF が重視・強化すべきこと(複数回答).....	31
(21) PMF が最も重視・強化すべきこと.....	33
アンケート調査票.....	35

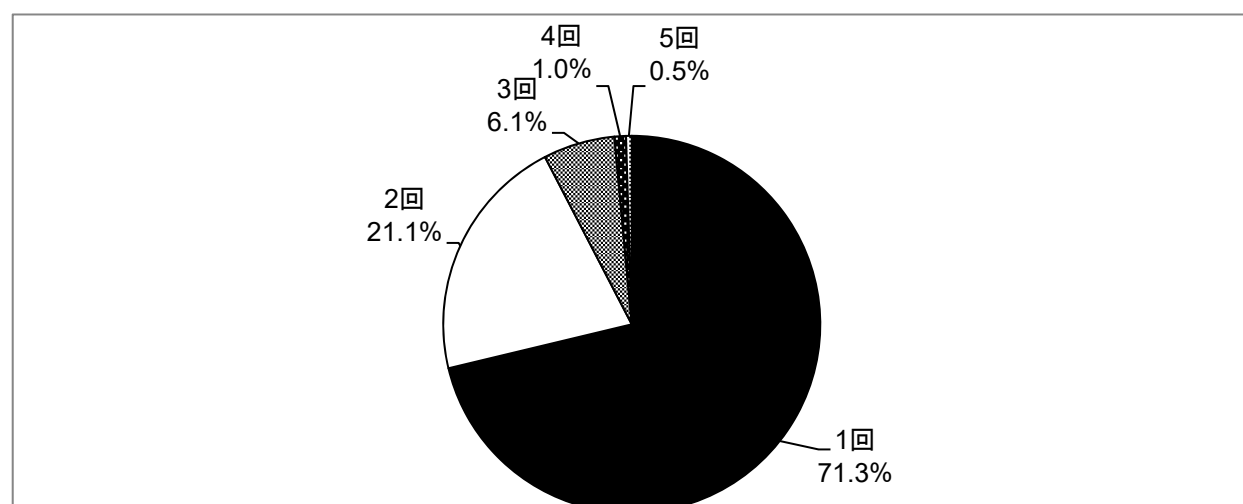
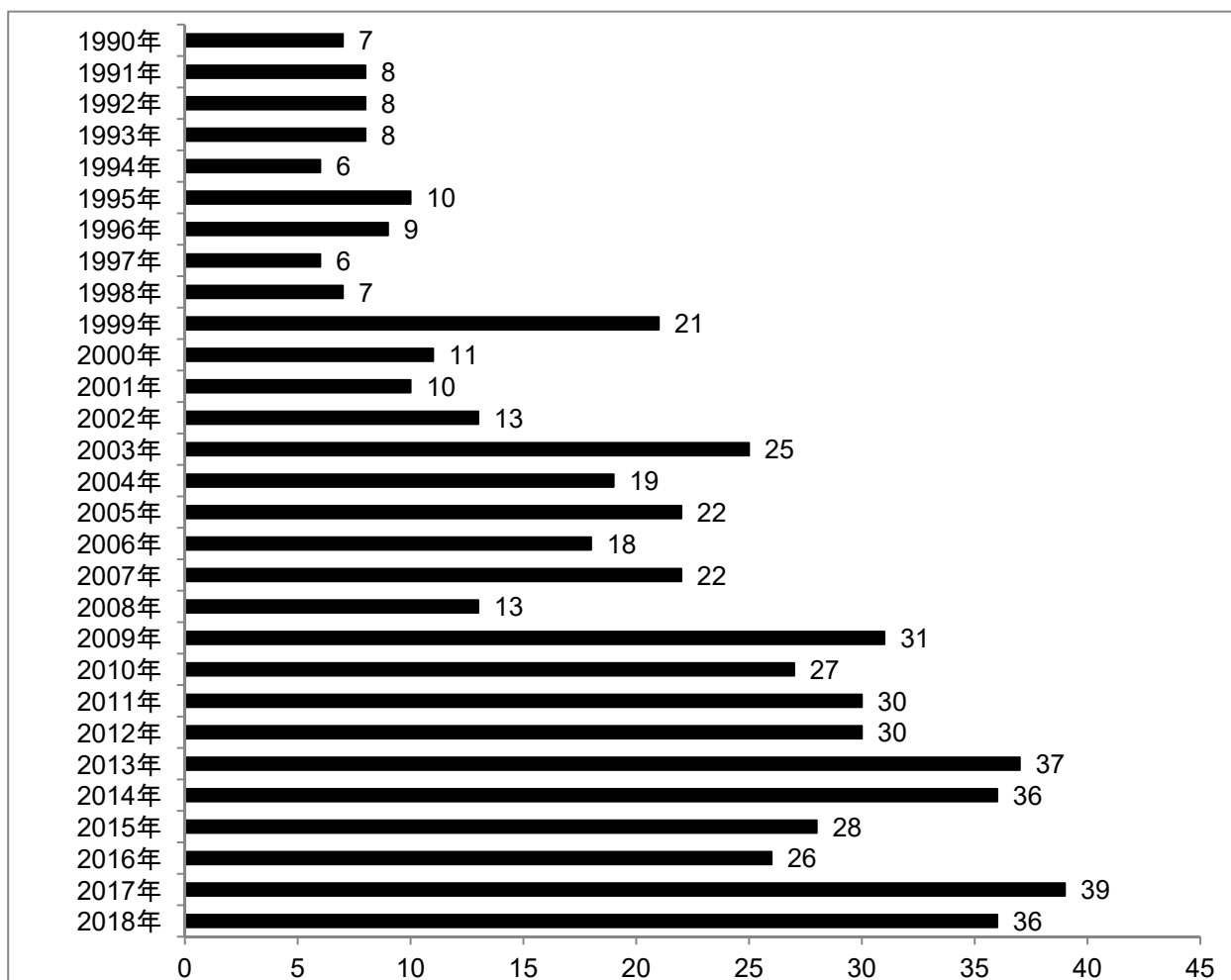
PMF修了生へのアンケート調査

- 調査目的 パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)がこれまでに果たしてきた役割、教育音楽祭としての成果を把握するため、全修了生を対象にしたアンケート調査を実施する。
- 調査方法 インターネット調査(PMF事務局から過去の修了生のメールアドレスに調査協力依頼メッセージを送信、ウェブサイト上のアンケートフォームに回答を入力)
- 調査期間 2019年10月11日～11月7日
- 調査対象 1990年～2018年のPMF修了生 1,715人(メール配信総数1,767人、52人は宛先不明)
- 回収数 407件(回収率23.7%)
- 調査内容 PMFへの参加年
参加パート・コース
PMF参加時の音楽活動
PMF参加時の活動拠点
参加動機
期待した成果は得られたか
現在の音楽活動
PMF修了生が所属するオーケストラ等
プロのオーケストラ等の奏者のポジション
プロのオーケストラ等の奏者の年間出演回数
プロのオーケストラ等の演奏会聴衆の平均人数
プロフィールへのPMFの記載
教え子や同僚の応募や参加
現在の活動拠点
PMFの効果の度合い
若手音楽家にPMFへの参加を勧めるか
PMF以外の教育音楽祭への参加経験
PMFと他の教育音楽祭との評価の比較
PMFが重視・強化すべきこと

(1) PMFへの参加年(①参加回数、参加年)

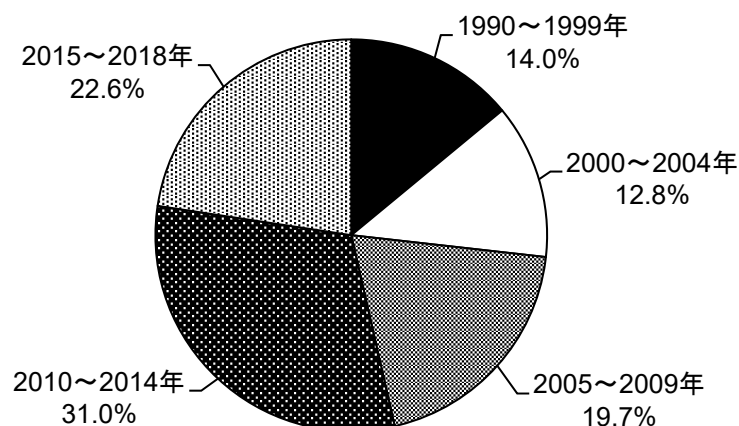
本アンケート調査の回答者にPMFの参加年を1990年から2018年まで複数回答で聞いた。参加年で最も多いのは「2017年」の39人で、以下、「2013年」が37人、「2014年」と「2018年」がそれぞれ36人、「2009年」が31人、「2011年」と「2012年」がそれぞれ30人となっている。

回答者の全数(407人)のうち、参加年の選択が「1回」は71.3%、「2回」が21.1%、「3回」が6.1%、「4回」が1.0%で、最も参加回数の多いのは「5回」の0.5%(2人)となっている。



(1) PMFへの参加初年(②カテゴリー別)

本アンケート調査の回答者のPMFへの参加の初年を5つのカテゴリーに集約したところ、最も大きいのは「2010～2014年」の31.0%で、以下、「2015～2018年」が22.6%、「2005～2009年」が19.7%、「1990～1999年」が14.0%、「2000～2004年」が12.8%となっている。



(単位:%)

		Q1 あなたは何年のPMFに参加しましたか。(参加初年・5区分別)					
		合計	1990～1999年	2000～2004年	2005～2009年	2010～2014年	2015～2018年
全体		407	14.0%	12.8%	19.7%	31.0%	22.6%
性別	男性	214	15.4%	12.6%	19.6%	32.7%	19.6%
	女性	182	12.6%	13.2%	19.8%	28.0%	26.4%
年代	20代	131	0.0%	0.0%	1.5%	38.9%	59.5%
	30代	180	0.6%	13.9%	40.0%	38.3%	7.2%
	40歳以上	84	63.1%	31.0%	4.8%	1.2%	0.0%
国籍	日本	88	18.2%	12.5%	19.3%	22.7%	27.3%
	アジア	53	9.4%	9.4%	22.6%	32.1%	26.4%
	北米	133	14.3%	7.5%	27.1%	33.8%	17.3%
	欧州	72	8.3%	18.1%	11.1%	37.5%	25.0%
	中南米・大洋州・多国籍	48	18.8%	25.0%	10.4%	22.9%	22.9%
時期	前期 (2009以前)	189	30.2%	27.5%	42.3%	0.0%	0.0%
	後期 (2010以降)	218	0.0%	0.0%	0.0%	57.8%	42.2%
楽器	ヴァイオリン	100	11.0%	12.0%	21.0%	36.0%	20.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	12.3%	12.3%	20.0%	33.8%	21.5%
	木管楽器	75	18.7%	16.0%	16.0%	21.3%	28.0%
	金管楽器	62	14.5%	14.5%	24.2%	24.2%	22.6%

性別:回答者の性別で見た場合、割合に大きな差はない。

年代:回答者の年代別で見た場合、「20代」は「2015～2018年」が59.5%、「30代」は「2005～2009年」が40.0%、「40歳以上」は「1990～1999年」が63.1%となっており、年代が高いほど最も割合の大きな時期はPMFの初期に、年代が若いほど近年に偏っている。

国籍:回答者の国籍を5つのエリアに分けて見た場合、「アジア」、「欧州」、「北米」は「2010～2014年」が最も大きな割合で、「日本」は「2015～2018年」、「中南米・大洋州・多国籍」は「2000～2004年」が最も大きな割合となっている。

楽器:回答者の楽器別で見た場合、「ヴァイオリン」と「弦楽器」は「2010～2014年」が最も大きな割合となっており、「木管楽器」は「2015～2018年」、「金管楽器」は「2005～2009年」と「2010～2014年」が同割合で最も大きい。

(2) 参加パート・コース

本アンケート調査の回答者の参加パート・コースは、「Violin」が最も多く24.6%と約4人に1人となっている。以下、「Viola」が11.8%、「DoubleBass」が10.6%、「Cello」が9.6%と、ここまでの上位は弦楽器となっている。なお、回答者全数407人のうち、5人は複数の楽器・コースを選択している。

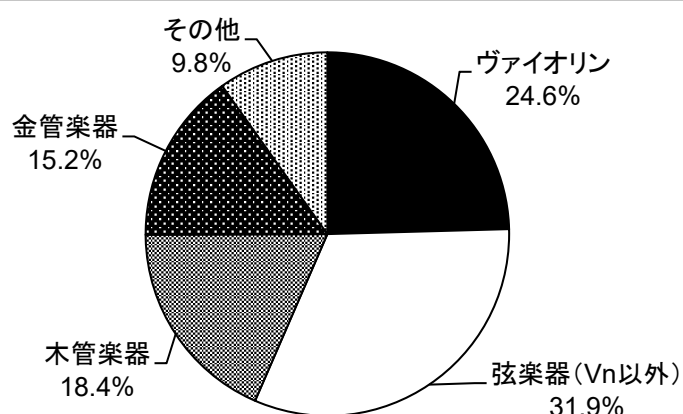
参加パート・コースを4つのカテゴリーに集約したところ、「弦楽器(Vn以外)」が31.9%で最も割合が大きく、以下、「ヴァイオリン」が24.6%、「木管楽器」が18.4%、「金管楽器」が15.2%、「その他」が9.8%となっている。

パート・コース	回答数	割合 (N=407)	カテゴリー
Violin	100	24.6%	ヴァイオリン
Viola	48	11.8%	弦楽器(Vn以外)
Cello	39	9.6%	弦楽器(Vn以外)
DoubleBass	43	10.6%	弦楽器(Vn以外)
Flute	21	5.2%	木管楽器
Oboe	16	3.9%	木管楽器
Clarinet	18	4.4%	木管楽器
Bassoon	20	4.9%	木管楽器
Horn	26	6.4%	金管楽器
Trumpet	19	4.7%	金管楽器
Trombone	10	2.5%	金管楽器
BassTrombone	2	0.5%	金管楽器
Tuba	5	1.2%	金管楽器
Percussion	19	4.7%	その他
Harp	7	1.7%	その他
Vocal	6	1.5%	その他
Piano/Keyboard	2	0.5%	その他
StringQuartet ^{※1}	3	0.7%	-
Conducting	4	1.0%	その他
Composition	2	0.5%	その他
AsianFellowshipProgram		0.0%	-
JuniorFellowProgram ^{※2}	2	0.5%	-
総計	412	101.2%	

407人の回答で412件の回答があり、5名が複数の楽器・コースを回答

※1 StringQuartetの3名のうち1名はヴァイオリン、2名は弦楽器(Vn以外)

※2 JuniorFellowProgramの2名のうち1名は木管楽器、1名は金管楽器



(2) 参加パート・コース

(単位:%)

		Q2 あなたはどのコース、パートに参加しましたか。(カテゴリー別)					
		合計	ヴァイオリン	弦楽器(Vn以外)	木管楽器	金管楽器	その他
全体		407	24.6%	31.9%	18.4%	15.2%	9.8%
性別	男性	214	15.0%	33.6%	18.2%	22.4%	10.7%
	女性	182	35.7%	29.7%	18.1%	7.7%	8.8%
年代	20代	131	29.8%	34.4%	16.0%	13.0%	6.9%
	30代	180	23.3%	32.8%	17.8%	16.1%	10.0%
	40歳以上	84	19.0%	26.2%	22.6%	19.0%	13.1%
国籍	日本	88	35.2%	23.9%	13.6%	13.6%	13.6%
	アジア	53	32.1%	39.6%	15.1%	7.5%	5.7%
	北米	133	22.6%	33.1%	15.8%	18.0%	10.5%
	欧州	72	6.9%	34.7%	26.4%	22.2%	9.7%
	中南米・大洋州・多国籍	48	29.2%	27.1%	25.0%	12.5%	6.3%
時期	前期(2009以前)	189	23.3%	30.7%	20.1%	17.5%	8.5%
	後期(2010以降)	218	25.7%	33.0%	17.0%	13.3%	11.0%
楽器	ヴァイオリン	100	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	弦楽器(Vn以外)	130	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	木管楽器	75	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	金管楽器	62	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

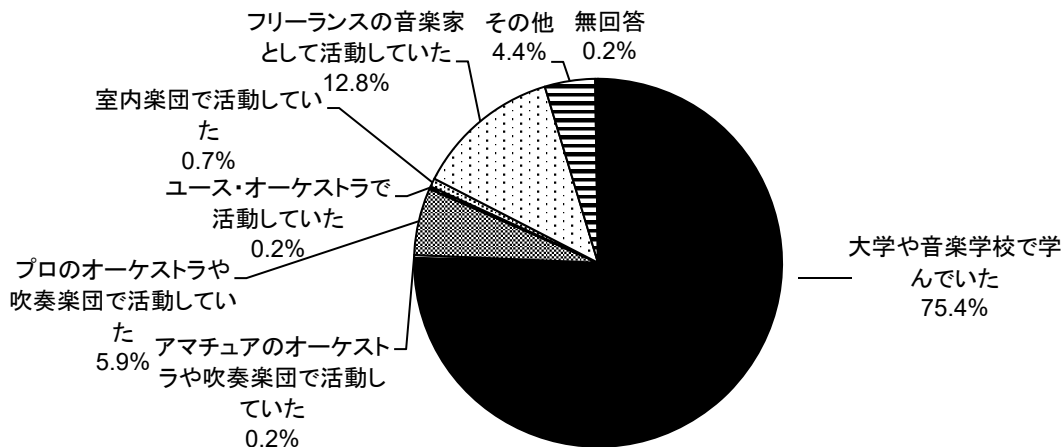
性別:「男性」では「弦楽器(Vn以外)」の割合が最も大きく、「女性」では「ヴァイオリン」の割合が最も高い。また、「男性」と「女性」では「金管楽器」での割合の差が大きい。

年代:割合に大きな差はない。

国籍:「アジア」、「欧州」、「北米」では「弦楽器(vn以外)」の割合が最も大きく、「日本」と「中南米・大洋州・多国籍」では「ヴァイオリン」の割合が最も大きい。「欧州」に関しては「ヴァイオリン」の割合が他のエリアに比べて極端に小さいのが特徴的で、「木管楽器」や「金管楽器」の割合が他のエリアに比べて大きい。

(3) PMF参加時の音楽活動

PMFに参加した時(複数回参加した場合は、初参加の時)にどんな音楽活動をしていたかを聞いたところ、「大学や音楽学校で学んでいた」が最も大きな割合で75.4%と4人に3人の割合を占めている。次いで「フリーランスの音楽家として活動していた」が12.8%、「プロのオーケストラや吹奏楽団で活動していた」が5.9%となっている。



(単位: %)

		Q3 PMFに参加した時、あなたはどんな音楽活動をしていましたか。複数回参加した場合は、初めて参加したときのことをお答えください。(SA)								
		合計	大学や音楽学校で学んでいた	アマチュアのオーケストラや吹奏楽団で活動していた	プロのオーケストラや吹奏楽団で活動していた	ユース・オーケストラで活動していた	室内楽団で活動していた	フリーランスの音楽家として活動していた	その他	無回答
全体		407	75.4%	0.2%	5.9%	0.2%	0.7%	12.8%	4.4%	0.2%
性別	男性	214	73.8%	0.0%	7.0%	0.5%	1.4%	11.7%	5.1%	0.5%
	女性	182	76.9%	0.5%	4.9%	0.0%	0.0%	13.7%	3.8%	0.0%
年代	20代	131	81.7%	0.0%	3.8%	0.0%	1.5%	9.9%	3.1%	0.0%
	30代	180	71.1%	0.6%	7.8%	0.0%	0.6%	15.0%	5.0%	0.0%
	40歳以上	84	72.6%	0.0%	6.0%	1.2%	0.0%	13.1%	6.0%	1.2%
国籍	日本	88	68.2%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	25.0%	2.3%	0.0%
	アジア	53	84.9%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	3.8%	5.7%	0.0%
	北米	133	75.9%	0.8%	5.3%	0.0%	0.8%	10.5%	6.0%	0.8%
	欧州	72	73.6%	0.0%	6.9%	1.4%	2.8%	9.7%	5.6%	0.0%
	中南米・大洋州・多国籍	48	75.0%	0.0%	10.4%	0.0%	0.0%	12.5%	2.1%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	189	79.4%	0.5%	5.8%	0.5%	0.0%	7.4%	5.8%	0.5%
	後期 (2010以降)	218	72.0%	0.0%	6.0%	0.0%	1.4%	17.4%	3.2%	0.0%
	ヴァイオリン	100	82.0%	0.0%	2.0%	0.0%	1.0%	11.0%	3.0%	1.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	81.5%	0.0%	2.3%	0.0%	0.8%	10.8%	4.6%	0.0%
	木管楽器	75	60.0%	1.3%	14.7%	0.0%	1.3%	18.7%	4.0%	0.0%
	金管楽器	62	74.2%	0.0%	9.7%	1.6%	0.0%	8.1%	6.5%	0.0%

性別: 割合に大きな差はない。

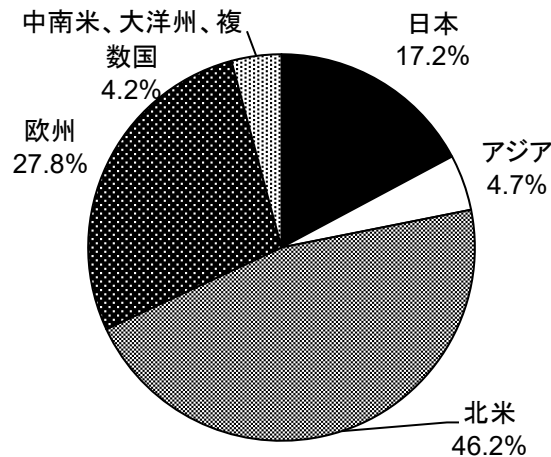
年代: 割合に大きな差はない。

国籍: 割合に大きな差はないが、「日本」では「フリーランスの音楽家として活動していた」が他のエリアよりも割合が大きい。

時期: 割合に大きな差はない。

(4) PMF参加時の活動拠点

PMFに参加した時の活動拠点の国と都市の回答(自由記述)を、5つのカテゴリーに集約したところ、「北米」が46.2%で最も割合が大きく、以下、「欧州」が27.8%、「日本」が17.2%、「アジア(日本を除く)」が4.7%、「中南米、大洋州、複数国」が4.2%となっている。



(単位: %)

		Q4 PMFに参加した時、あなたの活動拠点はどこでしたか。都市名と国名をご記入ください。複数回参加した場合は、初めて参加したときのことをお答えください。(SA)					
		合計	日本	アジア	北米	欧州	中南米、大洋州、複数国
全体		407	17.2%	4.7%	46.2%	27.8%	4.2%
性別	男性	214	10.7%	2.8%	52.8%	28.5%	5.1%
	女性	182	25.8%	6.6%	39.0%	25.3%	3.3%
年代	20代	131	16.8%	6.1%	46.6%	25.2%	5.3%
	30代	180	18.3%	3.3%	48.9%	26.7%	2.8%
	40歳以上	84	17.9%	4.8%	40.5%	31.0%	6.0%
国籍	日本	88	76.1%	0.0%	5.7%	18.2%	0.0%
	アジア	53	3.8%	32.1%	39.6%	15.1%	9.4%
	北米	133	0.0%	0.0%	97.7%	2.3%	0.0%
	欧州	72	0.0%	1.4%	9.7%	88.9%	0.0%
	中南米・大洋州・多国籍	48	2.1%	0.0%	39.6%	33.3%	25.0%
時期	前期 (2009以前)	189	19.6%	5.3%	46.0%	24.9%	4.2%
	後期 (2010以降)	218	15.1%	4.1%	46.3%	30.3%	4.1%
楽器	ヴァイオリン	100	21.0%	2.0%	54.0%	21.0%	2.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	14.6%	6.9%	46.2%	26.9%	5.4%
	木管楽器	75	13.3%	8.0%	32.0%	38.7%	8.0%
	金管楽器	62	17.7%	1.6%	50.0%	27.4%	3.2%

性別: 割合に大きな差はないが、女性では「日本」が他のエリアよりも割合が大きい。

年代: 割合に大きな差はない。

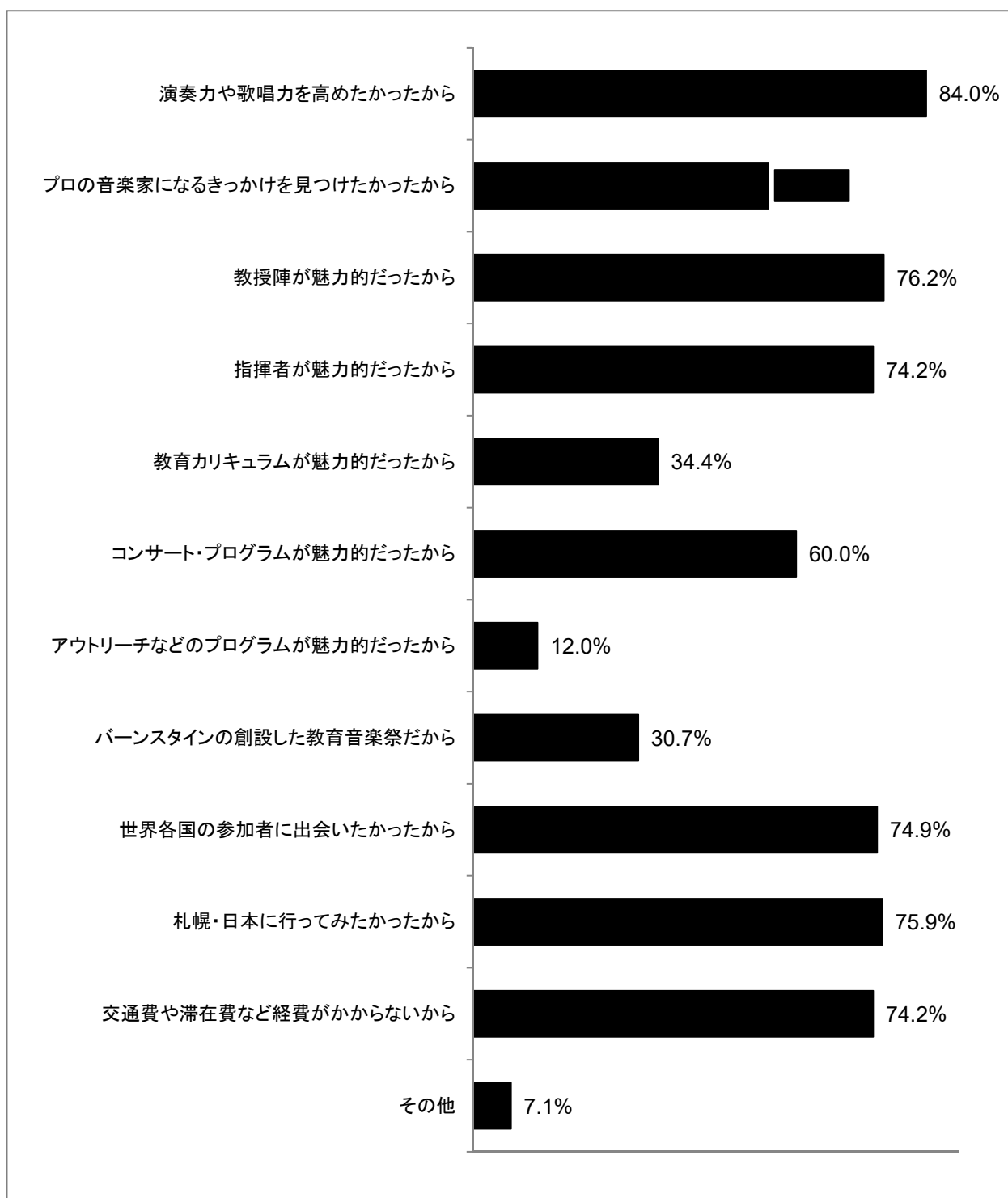
国籍: (PMF修了生自身の)国籍が「アジア」の場合、PMFに参加した時の活動拠点は「北米」の割合が最も大きく、「アジア」を上回っていることが特徴となっている。また、国籍が「中南米・大洋州・多国籍」の場合も、「北米」の割合が最も大きく、「中南米、大洋州、複数国」を上回っている。

時期: 割合に大きな差はない。

楽器: 「木管楽器」では「欧州」の割合が最も大きい、それ以外の楽器は「北米」の割合が最も大きい。

(5) 参加動機(複数回答)

PMFに参加しようと思った動機を複数回答で聞いたところ、「演奏力や歌唱力を高めたかったから」が84.0%で最も割合が大きく、以下、「教授陣が魅力的だったから」が76.2%、「札幌・日本に行ってみたかったから」が75.9%、「世界各国の参加者に出会いたかったから」が74.9%、「指揮者が魅力的だったから」と「交通費や滞在費など経費がかからないから」がともに74.2%となっている。



(5) 参加動機(複数回答)

(単位:%)

		Q5 あなたがPMFに参加しようと思った動機は何ですか。(MA)						
		合計	演奏力や歌唱力を高めたかったから	プロの音楽家になるきっかけを見つけたかったから	教授陣が魅力的だったから	指揮者が魅力的だったから	教育カリキュラムが魅力的だったから	コンサート・プログラムが魅力的だったから
全体		407	84.0%	54.8%	76.2%	74.2%	34.4%	60.0%
性別	男性	214	85.5%	55.1%	78.0%	75.7%	31.8%	61.7%
	女性	182	82.4%	54.4%	74.7%	72.0%	38.5%	58.8%
年代	20代	131	89.3%	61.8%	84.7%	74.8%	44.3%	65.6%
	30代	180	83.9%	51.7%	80.6%	73.9%	34.4%	62.8%
	40歳以上	84	77.4%	51.2%	56.0%	73.8%	21.4%	47.6%
国籍	日本	88	71.6%	39.8%	70.5%	56.8%	40.9%	43.2%
	アジア	53	77.4%	62.3%	71.7%	71.7%	43.4%	49.1%
	北米	133	92.5%	63.2%	87.2%	86.5%	30.1%	69.2%
	欧州	72	84.7%	50.0%	66.7%	73.6%	31.9%	70.8%
	中南米・大洋州・多国籍	48	87.5%	56.3%	75.0%	75.0%	33.3%	62.5%
時期	前期 (2009以前)	189	80.4%	52.4%	68.3%	75.1%	28.6%	57.7%
	後期 (2010以降)	218	86.7%	56.9%	82.6%	73.4%	39.4%	61.5%
楽器	ヴァイオリン	100	77.0%	52.0%	74.0%	78.0%	37.0%	61.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	84.6%	54.6%	72.3%	73.8%	33.8%	55.4%
	木管楽器	75	88.0%	57.3%	78.7%	74.7%	36.0%	58.7%
	金管楽器	62	91.9%	62.9%	83.9%	74.2%	37.1%	75.8%

		合計	アウトリーチなどのプログラムが魅力的だったから	バーンスタインの創設した教育音楽祭だから	世界各国の参加者に会いたかったから	札幌・日本に行ってみたかったから	交通費や滞在費など経費がかからないから	その他
全体		407	12.0%	30.7%	74.9%	75.9%	74.2%	7.1%
性別	男性	214	14.5%	33.2%	75.7%	84.1%	74.8%	9.3%
	女性	182	9.3%	29.1%	73.6%	67.6%	74.2%	4.9%
年代	20代	131	19.1%	31.3%	75.6%	77.9%	77.9%	8.4%
	30代	180	11.1%	28.3%	77.8%	77.2%	77.2%	7.8%
	40歳以上	84	3.6%	36.9%	67.9%	72.6%	63.1%	4.8%
国籍	日本	88	2.3%	31.8%	64.8%	27.3%	63.6%	11.4%
	アジア	53	18.9%	39.6%	75.5%	81.1%	73.6%	3.8%
	北米	133	11.3%	32.3%	76.7%	97.0%	89.5%	3.8%
	欧州	72	19.4%	23.6%	79.2%	88.9%	62.5%	9.7%
	中南米・大洋州・多国籍	48	14.6%	27.1%	77.1%	83.3%	68.8%	8.3%
時期	前期 (2009以前)	189	10.1%	31.2%	74.1%	72.5%	70.4%	5.3%
	後期 (2010以降)	218	13.8%	29.8%	75.2%	78.4%	77.1%	8.7%
楽器	ヴァイオリン	100	10.0%	31.0%	73.0%	70.0%	79.0%	8.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	13.1%	29.2%	79.2%	79.2%	74.6%	5.4%
	木管楽器	75	13.3%	28.0%	72.0%	77.3%	66.7%	2.7%
	金管楽器	62	17.7%	40.3%	83.9%	82.3%	74.2%	11.3%

性別:割合に大きな差はない。

年代:割合に大きな差はない。

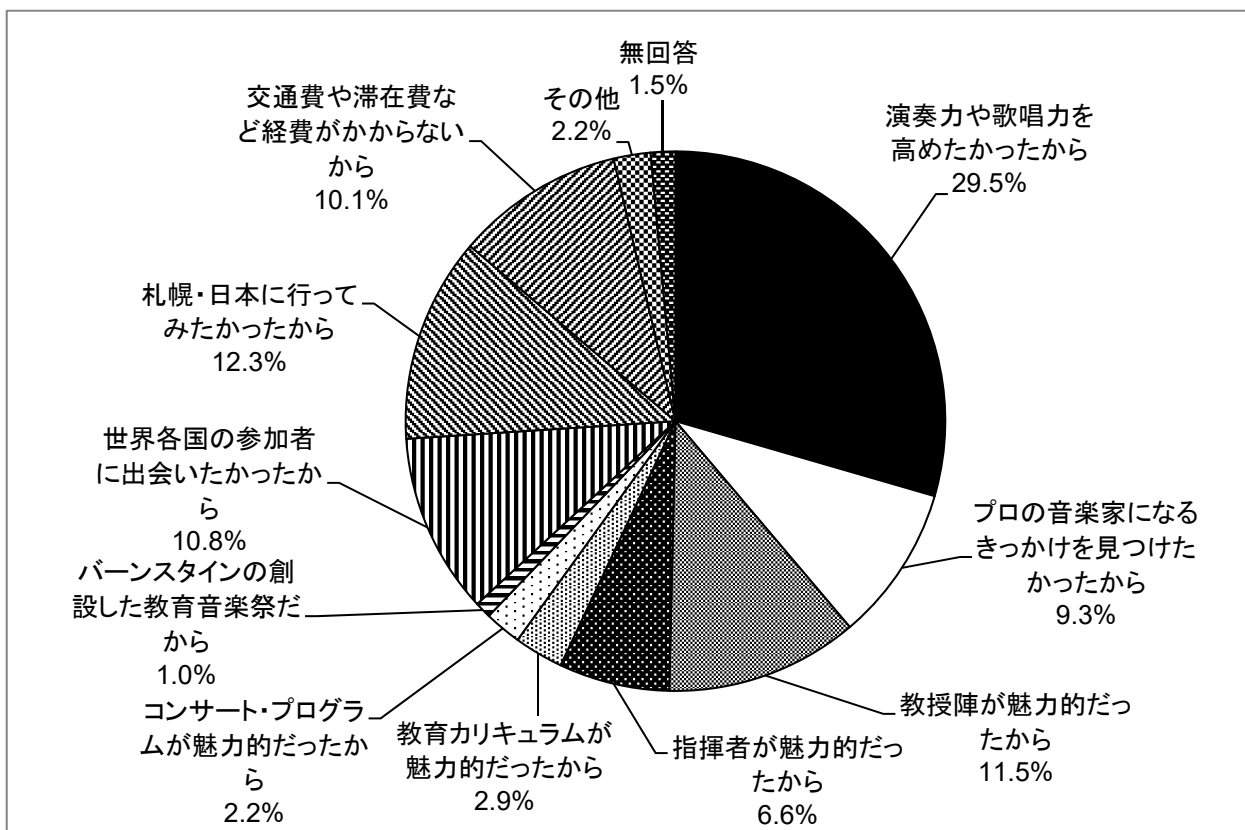
国籍:「アジア」、「欧州」、「北米」では「札幌・日本に行ってみたかったから」の割合が最も大きい

時期:割合に大きな差はない。

楽器:「ヴァイオリン」は「指揮者が魅力的だったから」の割合が最も大きい。

(6) 最重視した参加動機

PMFに参加しようと思った動機のうち、最も重視したものを単一回答で聞いたところ、「演奏力や歌唱力を高めたかったから」が29.5%で最も割合が大きい。以下、「札幌・日本に行ってみたかったから」が12.3%、「教授陣が魅力的だったから」が11.5%、「世界各国の参加者に出会いたかったから」が10.8%、「交通費や滞在費など経費がかからないから」が10.1%となっている。



(6) 最重視した参加動機

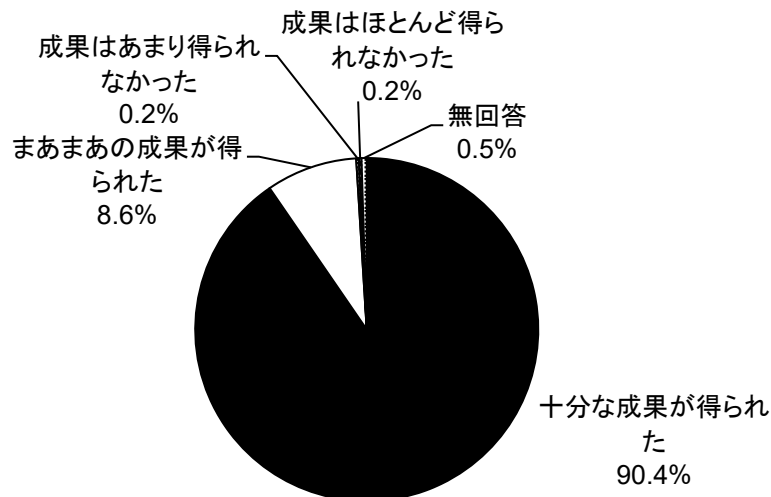
(単位:%)

		SQ5.1 Q5で選んだ動機のうち、あなたが最も重視したものをひとつ選んでその番号を記入してください。(SA)						
		合計	演奏力や歌唱力を高めたかったから	プロの音楽家になるきっかけを見つけたかったから	教授陣が魅力的だったから	指揮者が魅力的だったから	教育カリキュラムが魅力的だったから	コンサート・プログラムが魅力的だったから
全体		407	29.5%	9.3%	11.5%	6.6%	2.9%	2.2%
性別	男性	214	28.5%	7.9%	13.6%	7.0%	2.3%	0.9%
	女性	182	30.2%	11.0%	9.3%	6.6%	3.8%	3.8%
年代	20代	131	26.7%	11.5%	13.0%	2.3%	6.1%	1.5%
	30代	180	28.9%	7.2%	13.9%	10.0%	1.7%	2.8%
	40歳以上	84	35.7%	10.7%	4.8%	7.1%	1.2%	1.2%
国籍	日本	88	22.7%	11.4%	15.9%	6.8%	5.7%	1.1%
	アジア	53	20.8%	11.3%	18.9%	9.4%	0.0%	1.9%
	北米	133	34.6%	6.8%	5.3%	5.3%	0.8%	1.5%
	欧州	72	33.3%	12.5%	9.7%	8.3%	6.9%	4.2%
	中南米・大洋州・多国籍	48	33.3%	6.3%	16.7%	6.3%	2.1%	2.1%
時期	前期 (2009以前)	189	29.6%	9.5%	6.9%	9.5%	2.6%	2.1%
	後期 (2010以降)	218	29.4%	9.2%	15.6%	4.1%	3.2%	2.3%
楽器	ヴァイオリン	100	21.0%	8.0%	7.0%	5.0%	6.0%	3.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	30.0%	10.8%	12.3%	8.5%	1.5%	0.8%
	木管楽器	75	25.3%	10.7%	12.0%	10.7%	4.0%	1.3%
	金管楽器	62	41.9%	8.1%	9.7%	3.2%	1.6%	3.2%
		合計	バーンスタインの創設した教育音楽祭だから	世界各国の参加者に会いたかったから	札幌・日本に行ってみたかったから	交通費や滞在費など経費がかからないから	その他	無回答
全体		407	1.0%	10.8%	12.3%	10.1%	2.2%	1.5%
性別	男性	214	0.9%	11.2%	13.6%	11.7%	2.3%	0.0%
	女性	182	1.1%	9.3%	11.0%	8.8%	2.2%	2.7%
年代	20代	131	0.0%	13.7%	7.6%	13.7%	3.1%	0.8%
	30代	180	0.6%	8.9%	15.0%	8.3%	1.7%	1.1%
	40歳以上	84	3.6%	8.3%	14.3%	8.3%	2.4%	2.4%
国籍	日本	88	2.3%	11.4%	2.3%	13.6%	6.8%	0.0%
	アジア	53	1.9%	13.2%	7.5%	7.5%	1.9%	5.7%
	北米	133	0.0%	5.3%	21.8%	18.0%	0.8%	0.0%
	欧州	72	0.0%	12.5%	11.1%	0.0%	0.0%	1.4%
	中南米・大洋州・多国籍	48	2.1%	16.7%	12.5%	2.1%	0.0%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	189	2.1%	8.5%	14.8%	11.1%	1.6%	1.6%
	後期 (2010以降)	218	0.0%	12.8%	10.1%	9.2%	2.8%	1.4%
楽器	ヴァイオリン	100	0.0%	13.0%	14.0%	18.0%	1.0%	4.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	2.3%	7.7%	11.5%	9.2%	3.8%	1.5%
	木管楽器	75	1.3%	14.7%	12.0%	8.0%	0.0%	0.0%
	金管楽器	62	0.0%	12.9%	11.3%	4.8%	3.2%	0.0%

性別:割合に大きな差はない。
年代:割合に大きな差はない。
国籍:割合に大きな差はない。
時期:割合に大きな差はない。
楽器:割合に大きな差はない。

(7) 期待した成果は得られたか

PMFに参加して期待した成果が得られたかを4段階評価で聞いたところ、「十分な成果が得られた」が90.4%、「まあまあ成果が得られた」が8.6%、「成果はあまり得られなかった」と「成果はほとんど得られなかった」がそれぞれ0.2%となっている。肯定的な評価（「十分な成果が得られた」+「まあまあ成果が得られた」）を合わせると99.0%となっている。



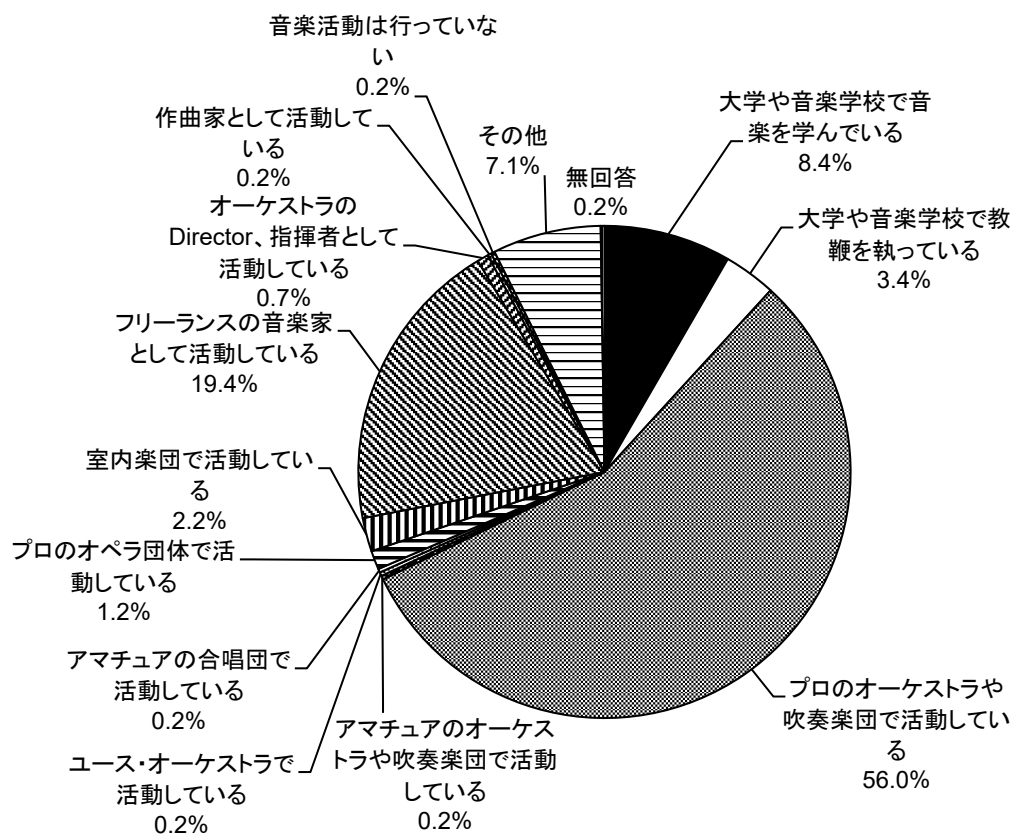
(単位:%)

		Q6 あなたはPMFに参加して期待した成果は得られましたか。(SA)					
		合計	十分な成果が得られた	まあまあ成果が得られた	成果はあまり得られなかった	成果はほとんど得られなかった	無回答
全体		407	90.4%	8.6%	0.2%	0.2%	0.5%
性別	男性	214	92.5%	7.0%	0.0%	0.5%	0.0%
	女性	182	87.9%	11.0%	0.5%	0.0%	0.5%
年代	20代	131	90.1%	9.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	180	90.0%	9.4%	0.0%	0.0%	0.6%
	40歳以上	84	91.7%	6.0%	1.2%	1.2%	0.0%
国籍	日本	88	83.0%	17.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	アジア	53	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	北米	133	91.7%	7.5%	0.8%	0.0%	0.0%
	欧州	72	94.4%	2.8%	0.0%	1.4%	1.4%
	中南米・大洋州・多国籍	48	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	189	89.4%	9.0%	0.5%	0.5%	0.5%
	後期 (2010以降)	218	91.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.5%
	ヴァイオリン	100	87.0%	12.0%	0.0%	0.0%	1.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	91.5%	7.7%	0.8%	0.0%	0.0%
	木管楽器	75	92.0%	5.3%	0.0%	1.3%	1.3%
	金管楽器	62	91.9%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%

性別:割合に大きな差はない。
 年代:割合に大きな差はない。
 国籍:割合に大きな差はない。
 時期:割合に大きな差はない。
 楽器:割合に大きな差はない。

(8) 現在の音楽活動

現在の音楽活動について選択肢を提示し、最も中心的なものを聞いたところ、「プロのオーケストラや吹奏楽団で活動している」が56.0%で最も割合が大きく、次いで「フリーランスの音楽家として活動している」が19.4%となっており、その他は1割に満たない回答となっている。



(8) 現在の音楽活動

(単位:%)

		Q7 現在、あなたはどんな音楽活動をしていますか。最も中心的なものをお選びください。 (SA)							
		合計	大学や音楽 学校で音楽 を学んでいる	大学や音楽 学校で教鞭 を執っている	プロのオーケ ストラや吹奏 楽団で活動し ている	アマチュアのオー ケストラや吹奏 楽団で活動し ている	ユース・オー ケストラで活 動している	アマチュアの 合唱団で活 動している	プロのオペ ラ団で活 動している
全体		407	8.4%	3.4%	56.0%	0.2%	0.2%	0.2%	1.2%
性別	男性	214	6.5%	3.3%	66.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
	女性	182	9.9%	3.8%	44.5%	0.5%	0.5%	0.5%	1.6%
年代	20代	131	21.4%	0.0%	41.2%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%
	30代	180	2.2%	3.9%	65.0%	0.6%	0.0%	0.6%	1.1%
	40歳以上	84	0.0%	8.3%	61.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%
国籍	日本	88	11.4%	2.3%	42.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	アジア	53	11.3%	9.4%	58.5%	1.9%	0.0%	0.0%	1.9%
	北米	133	8.3%	0.0%	59.4%	0.0%	0.8%	0.0%	3.0%
	欧州	72	2.8%	4.2%	61.1%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%
	中南米・大洋州・多国籍	48	6.3%	8.3%	64.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	189	0.0%	5.3%	65.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%
	後期 (2010以降)	218	15.6%	1.8%	47.7%	0.5%	0.5%	0.5%	0.0%
楽器	ヴァイオリン	100	12.0%	5.0%	53.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	9.2%	3.1%	52.3%	0.0%	0.8%	0.0%	0.8%
	木管楽器	75	4.8%	1.6%	75.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	金管楽器	62	4.0%	2.7%	57.3%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%
		合計	室内楽団で 活動している	フリーランス の音楽家とし て活動してい る	オーケストラ のDirector、 指揮者として 活動している	作曲家として 活動している	音楽活動は 行っていない	その他	無回答
全体		407	2.2%	19.4%	0.7%	0.2%	0.2%	7.1%	0.2%
性別	男性	214	1.9%	12.1%	1.4%	0.5%	0.5%	6.5%	0.0%
	女性	182	2.2%	27.5%	0.0%	0.0%	0.0%	8.2%	0.5%
年代	20代	131	2.3%	26.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.6%	0.8%
	30代	180	2.2%	18.3%	1.1%	0.0%	0.6%	4.4%	0.0%
	40歳以上	84	0.0%	11.9%	1.2%	1.2%	0.0%	13.1%	0.0%
国籍	日本	88	2.3%	31.8%	1.1%	0.0%	0.0%	8.0%	1.1%
	アジア	53	0.0%	13.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%
	北米	133	2.3%	17.3%	0.0%	0.8%	0.8%	7.5%	0.0%
	欧州	72	1.4%	18.1%	1.4%	0.0%	0.0%	9.7%	0.0%
	中南米・大洋州・多国籍	48	2.1%	10.4%	2.1%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	189	1.6%	16.4%	0.0%	0.5%	0.0%	7.9%	0.0%
	後期 (2010以降)	218	2.8%	22.0%	1.4%	0.0%	0.5%	6.4%	0.5%
	ヴァイオリン	100	3.0%	19.0%	1.0%	0.0%	0.0%	4.0%	1.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	3.1%	25.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	0.0%
	木管楽器	75	0.0%	16.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
	金管楽器	62	1.3%	14.7%	0.0%	0.0%	1.3%	16.0%	0.0%

性別:割合に大きな差はない。

年代:割合に大きな差はない。

国籍:割合に大きな差はないが、「日本」では「フリーランスの音楽家として活動していた」が他のエリアよりも割合が大きい。

時期:割合に大きな差はない。

楽器:割合に大きな差はない。

(9) PMF修了生が所属するオーケストラ等

アンケートに回答したPMF修了生で、現在「プロのオーケストラや吹奏楽団で活動している」と回答した人に、所属するオーケストラ等の名称を聞いたところ、222人から165団体の回答（無回答・無効回答を除く）があった。

所属オーケストラの所在国・地域別に見ると、「米国」が54団体・87人で最も多く、次いで「ドイツ」（32団体・35人）、「日本」（15団体・21人）という順位になっている。

個別のオーケストラを見ると、「香港シンフォニエッタ」が5人で最も多く、「サンアントニオ交響楽団」、「セント・ルイス交響楽団」、「デトロイト交響楽団」、「ボストン交響楽団」、「ロサンゼルス・フィルハーモニック」、「読売日本交響楽団」がそれぞれ4人の回答となっている。

所属オーケストラの所在国・地域	団体数	人数
米国	54	87
ドイツ	32	35
日本	15	21
オーストラリア	3	6
オーストリア	6	6
中国	4	6
香港	1	5
英国	5	5
カナダ	3	4
韓国	2	3
台湾	3	3
チェコ	3	3
フランス	2	3
ハンガリー	2	3
スウェーデン	3	3
ヴェトナム	1	2
オランダ	2	2
ロシア	2	2
メキシコ	2	2
コロンビア	1	2
スペイン	2	2
スイス	2	2
以下、所属オーケストラが1人の国・地域 シンガポール、フィリピン、ベルギー、クロアチア、フィンランド、マケドニア、ノルウェー、ポルトガル、スロヴェニア、マルタ、アルゼンチン、チリ、コスタリカ、パナマ、ニュージーランド		
総計	165	222

(9) PMF修了生が所属するオーケストラ等

国名	所属するオーケストラ(カッコ内は複数のPMF修了生がいる場合の人数)	
日本	読売日本交響楽団 (4) 札幌交響楽団 (2) 兵庫芸術文化センター管弦楽団 (2) 日本センチュリー交響楽団 (2) NHK交響楽団 関西フィルハーモニー管弦楽団 群馬交響楽団 新日本フィルハーモニー交響楽団	大阪交響楽団 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 東京フィルハーモニー交響楽団 東京交響楽団 日本フィルハーモニー交響楽団 宝塚歌劇オーケストラ 名古屋フィルハーモニー交響楽団
中国	マカオオーケストラ (4) 国家大劇院管弦楽団	上海交響楽団 Suzhou Symphony Orchestra
韓国	ソウル市立交響楽団 (2)	韓国交響楽団
台湾	フィルハーモニア台湾 Evergreen Symphony Orchestra (Taiwan)	台北市立交響楽団
香港	香港シンフォニエッタ (5)	
シンガポール	Singapore Chinese Orchestra	
フィリピン	マニラ交響楽団	
ヴェトナム	Sun Symphony Orchestra (3)	
米国	サンアントニオ交響楽団 (4) セント・ルイス交響楽団 (4) デトロイト交響楽団 (4) ボストン交響楽団 (4) ロサンゼルス・フィルハーモニック (4) アトランタ交響楽団 (3) コロラド交響楽団 (3) メトロポリタン歌劇場管弦楽団 (2) ワシントン・ナショナル交響楽団 (2) ニューヨーク・シティ・バレエ管弦楽団 (2) サンフランシスコ歌劇場管弦楽団 (2) ヒューストン交響楽団 (2) New Jersey Symphony Orchestra (2) ヒューストン・グランド・オペラ (2) ダラス交響楽団 (2) ボルティモア交響楽団 (2) サンディエゴ交響楽団 (2) カンザスシティ交響楽団 (2) ユタ交響楽団 (2) フェニックス交響楽団 (2) パシフィック交響楽団 (2) アメリカ空軍バンド アメリカ陸軍軍楽隊 インディアナポリス交響楽団 オレゴン交響楽団 サンフランシスコ・バレエ管弦楽団 サンフランシスコ交響楽団 シアトル交響楽団	シカゴ交響楽団 ナッシュヴィル交響楽団 ニューヨーク・フィルハーモニック ノースカロライナ交響楽団 ミネソタ管弦楽団 リッチモンド交響楽団 ルイジアナ・フィルハーモニー管弦楽団 ロチェスター・フィルハーモニー管弦楽団 軍楽隊 (United States Navy Band) Alabama Symphony Orchestra Albany Symphony Orchestra Atlanta Opera & Ballet, Huntsville Symphony Orchestras Bangor Symphony Berkeley Symphony Charleston Symphony Dayton Philharmonic Fort Worth Symphony Imperial Symphony orchestra Jacksonville Symphony Kalamazoo Symphony Orchestra Michigan Opera Theatre Orchestra Princeton Symphony Orchestra Sarasota Orchestra The Delaware Symphony The Florida Orchestra Tucson Symphony Orchestra

(9) PMF修了生が所属するオーケストラ等

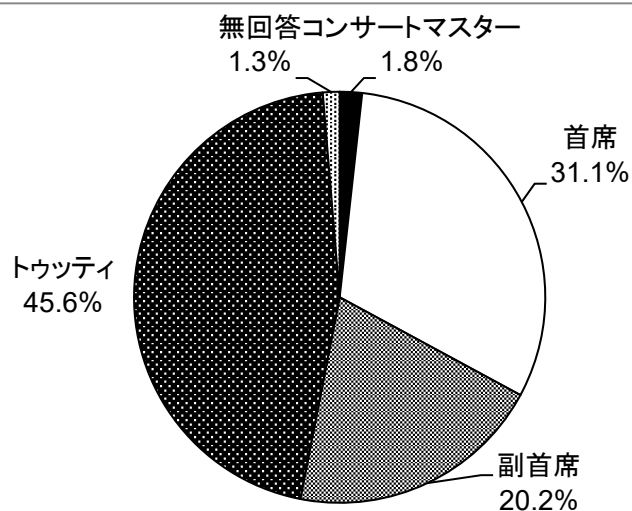
国名	所属するオーケストラ(カッコ内は複数のPMF修了生がいる場合の人数)	
カナダ	トロント交響楽団 (2)	Winnipeg Symphony Orchestra
	Orchestre Symphonique de Quebec	
オーストリア	ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団	モーツアルテウム管弦楽団
	ウィーン・フォルクスオーパー	Grazer Philharmonisches Orchestra
	ウィーン国立歌劇場	KSO Kärntner Sinfonie Orchester
ベルギー	ブリュッセル・フィルハーモニック	
クロアチア	クロアチア国立劇場	
チェコ	プラハ・フィルハーモニア	Karlovy Vary Symphony Orchestra
	国民劇場 (プラハ)	
フィンランド	Finnish National Opera Orchestra	
フランス	イル・ド・フランス国立管弦楽団 (2)	リヨン国立管弦楽団
ドイツ	ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団 (2)	NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団
	Brandenburgisches Staatsorchester Frankfurt Oder (2)	ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団
	Nürnberger Symphoniker (2)	Anhaltische Philharmonie Dessau
	キール市立歌劇場	Baden-Baden Philharmonie
	ケルンWDR交響楽団	Bielefelder Philharmoniker
	ザールブリュッケン・カイザースラウテルン・ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団	Bochumer Symphoniker
	シュターツカペレ・ドレスデン (Academy)	Brandenburg Symphony Orchestra
	ダルムシュタット市立歌劇場	Bremer Philharmoniker
	デュッセルドルフ交響楽団	Federal Police Wind Band Berlin (Bundespolizei Orchester Berlin)
	バイエルン国立管弦楽団	Goettingen Symphony Orchestra
	ハンブルク・フィルハーモニカー	Hamburg Symphoniker
	ベルリン・ドイツ・オペラ	Hessisches Staatstheater Wiesbaden
	ベルリン・ドイツ交響楽団	Philharmonisches Orchester der Stadt Trier
	ベルリンフィルカラヤンアカデミー	Philharmonisches Orchester Hagen
	ラインラント＝プファルツ州立フィルハーモニー管弦楽団	Robert-Schumann Philharmonie Chemnitz and University Dresden
	ワイマール・シュターツカペレ	Schleswig-Holstein Sinfonieorchester
ハンガリー	ハンガリー国立歌劇場管弦楽団 (2)	Concerto Budapest
マケドニア	Macedonian philharmonic orchestra	
マルタ	Malta Philharmonic Orchestra	
オランダ	ネーデルラント・フィルハーモニー管弦楽団	北オランダ交響楽団
ノルウェー	ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団	
ポルトガル	Orquestra Clássica do Sul	
ロシア	マリインスキー劇場管弦楽団	ムジカエテルナ
スロヴェニア	スロヴェニア・フィルハーモニー	
スペイン	マドリッド交響楽団	Orquesta Sinfónica de Bilbao
スウェーデン	ノールショピング交響楽団	Jönköpings Sinfonietta, Smålands Musik och Teater, Sweden
	Malmö Opera	
スイス	Kammerphilharmonie Graubünden	Symphony Orchestra St.Gallen Switzerland
英国	ハレ管弦楽団	ロンドン交響楽団
	フィルハーモニア管弦楽団	BBCフィルハーモニック
	ロンドンフィルハーモニー	

(9) PMF修了生が所属するオーケストラ等

国名	所属するオーケストラ(カッコ内は複数のPMF修了生がいる場合の人数)	
アルゼンチン	アルゼンチン国立交響楽団	
チリ	Orquesta Sinfónica Nacional de Chile	
コロンビア	コロンビア国立交響楽団 (2)	
コスタリカ	コスタリカ国立交響楽団	
メキシコ	Orquesta Filarmónica de Jalisco	Orquesta Sinfonica de Xalapa
パナマ	National Symphony orchestra of Panama	Adelaide Symphony Orchestra
オーストラリア	クイーンズランド交響楽団 (3) West Australian Symphony Orchestra	Omega Ensemble (A Chamber Ensemble based in Sydney)
ニュージーランド	ニュージーランド交響楽団	

(10) プロのオーケストラ等の奏者のポジション

アンケートに回答したPMF修了生で、現在「プロのオーケストラや吹奏楽団で活動している」と回答した人に、ポジションを聞いたところ「トゥッティ」が45.6%で最も割合が大きく、以下、「首席」が31.1%、「副首席」が20.2%、「コンサートマスター」が1.8%となっている。「コンサートマスター」、「首席」、「副首席」を合わせると53.1%を占めている。



(単位: %)

		SQ7.2 あなたのポジションで該当するものをお選びください。(SA)					
		合計	コンサートマスター	首席	副首席	トゥッティ	無回答
全体		228	1.8%	31.1%	20.2%	45.6%	1.3%
性別	男性	142	1.4%	37.3%	18.3%	42.3%	0.7%
	女性	81	2.5%	22.2%	24.7%	50.6%	0.0%
年代	20代	54	0.0%	22.2%	24.1%	53.7%	0.0%
	30代	117	1.7%	32.5%	21.4%	43.6%	0.9%
	40歳以上	52	3.8%	40.4%	15.4%	40.4%	0.0%
国籍	日本	37	0.0%	24.3%	10.8%	64.9%	0.0%
	アジア	31	0.0%	29.0%	16.1%	54.8%	0.0%
	北米	79	0.0%	30.4%	21.5%	46.8%	1.3%
	欧州	44	2.3%	43.2%	31.8%	22.7%	0.0%
	中南米・大洋州・多国籍	31	9.7%	32.3%	16.1%	41.9%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	124	3.2%	35.5%	20.2%	39.5%	1.6%
	後期 (2010以降)	104	0.0%	26.0%	20.2%	52.9%	1.0%
楽器	ヴァイオリン	53	7.5%	7.5%	13.2%	69.8%	1.9%
	弦楽器 (Vn以外)	68	0.0%	20.6%	23.5%	55.9%	0.0%
	木管楽器	43	0.0%	46.5%	23.3%	27.9%	2.3%
	金管楽器	47	0.0%	53.2%	17.0%	27.7%	2.1%

性別: 割合に大きな差はない。

年代: 「40歳以上」の場合は「首席」と「トゥッティ」が同割合となっている。

国籍: 「欧州」では「首席」の割合が最も大きい。

時期: 割合に大きな差はない。

楽器: 「木管楽器」と「金管楽器」は「首席」の割合が最も大きい。とくに「金管楽器」は過半数が「首席」となっている。

(10) プロのオーケストラ等の奏者のポジション

コンサートマスター、首席、副首席のいるオーケストラの国・地域	団体数	人数
米国	35	40
ドイツ	20	21
日本	8	8
英国	5	5
オーストラリア	4	4
中国	3	3
韓国	2	3
カナダ	3	3
スウェーデン	3	3
台湾	2	2
ヴェトナム	1	2
オーストリア	2	2
ハンガリー	1	2
オランダ	2	2
ロシア	2	2
スペイン	2	2
以下、コンサートマスター、首席、副首席が1人(1団体)のオーケストラの国・地域 香港、シンガポール、フィリピン、クロアチア、フィンランド、フランス、ポルトガル、スロヴェニア、スイス、マルタ、チリ、コロンビア、コスタリカ、メキシコ、ニュージーランド、		
総計	109	119

国名	コンサートマスター、首席・副首席奏者のいるオーケストラ(カッコ内は複数いる場合の人数)	
日本	兵庫芸術文化センター管弦楽団	大阪交響楽団
	関西フィルハーモニー管弦楽団	東京フィルハーモニー交響楽団
	群馬交響楽団	東京交響楽団
	新日本フィルハーモニー交響楽団	名古屋フィルハーモニー交響楽団
中国	国家大劇院管弦楽団	Suzhou Symphony Orchestra
	上海交響楽団	
韓国	ソウル市立交響楽団	韓国交響楽団
台湾	フィルハーモニア台湾	Evergreen Symphony Orchestra (Taiwan)
香港	香港シンフォニエッタ	
シンガポール	Singapore Chinese Orchestra	
フィリピン	マニラ交響楽団	
ヴェトナム	Sun Symphony Orchestra (2)	
米国	デトロイト交響楽団 (3)	ダラス交響楽団
	ボストン交響楽団 (3)	ニューヨーク・フィルハーモニック
	セント・ルイス交響楽団 (2)	ノースカロライナ交響楽団
	ニューヨーク・シティ・バレエ管弦楽団 (2)	パシフィック交響楽団
	アメリカ空軍バンド	ヒューストン・グランド・オペラ
	アメリカ陸軍軍楽隊	ヒューストン交響楽団
	コロラド交響楽団	ボルティモア交響楽団
	サンフランシスコ・バレエ管弦楽団	メトロポリタン歌劇場管弦楽団
	サンフランシスコ交響楽団	ユタ交響楽団
	シアトル交響楽団	ロサンゼルス・フィルハーモニック
	ロチェスター・フィルハーモニー管弦楽団	Jacksonville Symphony

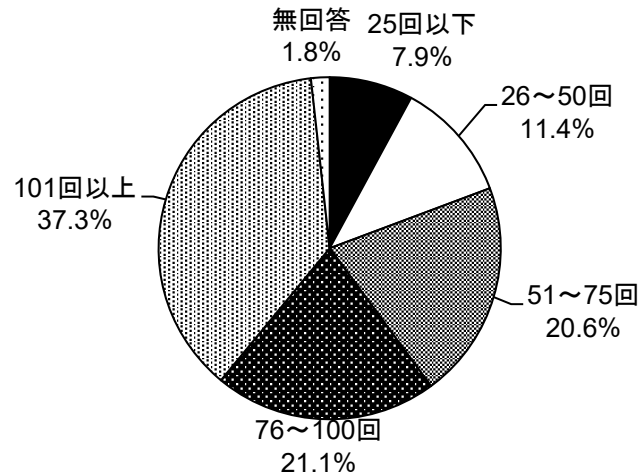
(10) プロのオーケストラ等の奏者のポジション

国名	コンサートマスター、首席・副首席奏者のいるオーケストラ(カッコ内は複数いる場合の人数)	
米国(続き)	Alabama Symphony Orchestra Atlanta Opera & Ballet, Huntsville Symphony Orchestras Berkeley Symphony Charleston Symphony Dayton Philharmonic Imperial Symphony orchestra	Michigan Opera Theatre Orchestra New Jersey Symphony Orchestra Princeton Symphony Orchestra The Delaware Symphony The Florida Orchestra Tucson Symphony Orchestra
カナダ	トロント交響楽団 Orchestre Symphonique de Quebec	Winnipeg Symphony Orchestra
オーストリア	ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団	KSO Kärntner Sinfonie Orchester
クロアチア	クロアチア国立劇場	
フィンランド	Finnish National Opera Orchestra	
フランス	イル・ド・フランス国立管弦楽団	
ドイツ	Brandenburgisches Staatsorchester Frankfurt Oder (2) ケルンWDR交響楽団 デュッセルドルフ交響楽団 ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団 バイエルン国立管弦楽団 ハンブルク・フィルハーモニー ベルリン・ドイツ・オペラ ベルリン・ドイツ交響楽団 ベルリンフィルカラヤンアカデミー ラインラント＝プファルツ州立フィルハーモニー管弦楽団	Bielefelder Philharmoniker Anhaltische Philharmonie Dessau Baden-Baden Philharmonie Bochumer Symphoniker Brandenburg Symphony Orchestra Bremer Philharmoniker Federal Police Wind Band Berlin (Bundespolizeiorchester Berlin) Goettingen Symphony Orchestra Philharmonisches Orchester Hagen Schleswig-Holstein Sinfonicorchester
ハンガリー	ハンガリー国立歌劇場管弦楽団	
オランダ	ネーデルラント・フィルハーモニー管弦楽団	北オランダ交響楽団
ポルトガル	Orquestra Clássica do Sul	
ロシア	マリンスキー劇場管弦楽団	ムジカエテルナ
スロヴェニア	スロヴェニア・フィルハーモニー	
スペイン	マドリッド交響楽団	Orquesta Sinfónica de Bilbao
スウェーデン	ノールショピング交響楽団 Malmö Opera	Jönköpings Sinfonietta, Smålands Musik och Teater, Sweden
スイス	Kammerphilharmonie Graubünden	
マルタ	Malta Philharmonic Orchestra	
英国	ハレ管弦楽団 フィルハーモニア管弦楽団 ロンドンフィルハーモニー	ロンドン交響楽団 BBCフィルハーモニック
チリ	Orquesta Sinfónica Nacional de Chile	
コロンビア	コロンビア国立交響楽団	
コスタリカ	コスタリカ国立交響楽団	
メキシコ	Orquesta Filarmónica de Jalisco	
オーストラリア	クイーンズランド交響楽団 Adelaide Symphony Orchestra West Australian Symphony Orchestra	Omega Ensemble (A Chamber Ensemble based in Sydney)
ニュージーランド	ニュージーランド交響楽団	

(11) プロのオーケストラ等の奏者の年間出演回数

プロのオーケストラや吹奏楽団で活動しているPMF修了生の2018年シーズンの所属オーケストラでの演奏会の出演回数は、「101回以上」が37.3%で最も多く、次いで「76～100回」(21.1%)、「51～75回」(20.6%)、「26～50回」(11.4%)、「25回以下」(7.9%)となっている。

この回答に基づき、本設問の回答者の所属オーケストラの年間延べ回数を試算(各選択肢の中央値に回答者数を乗じて得られた数値の和、ただし無回答を除く)したところ、年間の延べ公演数は18,768回となり、1人・1団体あたりの平均年間公演数は83.8回となる。



(単位: %)

		SQ7.3 2018年シーズンに、所属オーケストラで何回ぐらいの演奏会(アウトリーチや教育活動を除く)に出演しましたか。(SA)						
		合計	25回以下	26～50回	51～75回	76～100回	101回以上	無回答
全体		228	7.9%	11.4%	20.6%	21.1%	37.3%	1.8%
性別	男性	142	6.3%	13.4%	19.7%	23.9%	35.9%	0.7%
	女性	81	9.9%	7.4%	23.5%	16.0%	42.0%	1.2%
年代	20代	54	9.3%	16.7%	22.2%	14.8%	37.0%	0.0%
	30代	117	8.5%	11.1%	18.8%	21.4%	38.5%	1.7%
	40歳以上	52	3.8%	5.8%	25.0%	26.9%	38.5%	0.0%
国籍	日本	37	16.2%	8.1%	18.9%	16.2%	37.8%	2.7%
	アジア	31	6.5%	25.8%	29.0%	16.1%	22.6%	0.0%
	北米	79	8.9%	7.6%	10.1%	12.7%	59.5%	1.3%
	欧州	44	0.0%	13.6%	31.8%	40.9%	13.6%	0.0%
	中南米・大洋州・多国籍	31	3.2%	6.5%	29.0%	25.8%	35.5%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	124	7.3%	6.5%	24.2%	18.5%	41.1%	2.4%
	後期 (2010以降)	104	8.7%	17.3%	16.3%	24.0%	32.7%	1.0%
	ヴァイオリン	53	9.4%	15.1%	18.9%	15.1%	37.7%	3.8%
	弦楽器 (Vn以外)	68	8.8%	10.3%	22.1%	22.1%	36.8%	0.0%
	木管楽器	43	7.0%	7.0%	23.3%	27.9%	32.6%	2.3%
	金管楽器	47	6.4%	12.8%	25.5%	17.0%	36.2%	2.1%

性別: 割合に大きな差はない。

年代: 割合に大きな差はない。

国籍: 「アジア」では「51～75回」、「欧州」では「76～100回」の割合が最も大きい。

時期: 割合に大きな差はない。

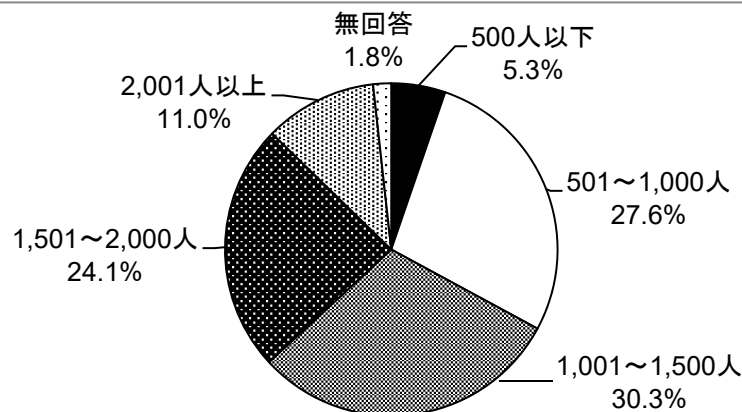
楽器: 割合に大きな差はない。

(12) プロのオーケストラ等の演奏会聴衆の平均人数

プロのオーケストラや吹奏楽団で活動しているPMF修了生の2018年シーズンの所属オーケストラでの演奏会の1回当たりの聴衆の平均は、「1,501～2,000人」が30.3%で最も多く、次いで「501～1,000人」(27.6%)、「1,001～1,500人」(24.1%)、「2,001人以上」(11.0%)、「500人以下」(5.3%)となっている。

この回答に基づき、本設問の回答者の所属オーケストラの演奏会聴衆の平均人数の試算(各選択肢の中央値に回答者数を乗じて得られた数値の和、ただし無回答を除く)したところ、1回当たり平均聴衆人数は1,290.6人となる。これに前の設問で得られた1人あたりの年間演奏会の平均公演数は83.8回と、修了生の所属団体数165団体(回答者ベース、重複を除く)を乗じると、プロのオーケストラ等に所属するPMF修了生による年間演奏会の聴衆の延べ数は約1,782万人(回答者ベース)となる。

本アンケート調査の回答率は23.7%であることから、PMFの全修了生の所属するプロのオーケストラ等



(単位:%)

		SQ7.4 その演奏会の聴衆は、1回当たり平均で何人ぐらいでしたか。(SA)						
		合計	500人以下	501～1,000	1,001～1,500	1,501～2,000	2,001人以上	無回答
全体		228	5.3%	27.6%	30.3%	24.1%	11.0%	1.8%
性別	男性	142	4.2%	32.4%	26.8%	23.9%	12.0%	0.7%
	女性	81	7.4%	21.0%	35.8%	24.7%	9.9%	1.2%
年代	20代	54	7.4%	31.5%	31.5%	24.1%	5.6%	0.0%
	30代	117	5.1%	27.4%	28.2%	24.8%	12.8%	1.7%
	40歳以上	52	3.8%	26.9%	32.7%	23.1%	13.5%	0.0%
国籍	日本	37	5.4%	32.4%	29.7%	21.6%	8.1%	2.7%
	アジア	31	6.5%	25.8%	35.5%	22.6%	9.7%	0.0%
	北米	79	5.1%	19.0%	29.1%	30.4%	15.2%	1.3%
	欧州	44	9.1%	47.7%	18.2%	18.2%	6.8%	0.0%
	中南米・大洋州・多国籍	31	0.0%	22.6%	41.9%	22.6%	12.9%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	124	4.0%	22.6%	30.6%	27.4%	12.9%	2.4%
	後期 (2010以降)	104	6.7%	33.7%	29.8%	20.2%	8.7%	1.0%
楽器	ヴァイオリン	53	5.7%	20.8%	30.2%	30.2%	9.4%	3.8%
	弦楽器 (Vn以外)	68	5.9%	29.4%	26.5%	26.5%	11.8%	0.0%
	木管楽器	43	4.7%	25.6%	37.2%	23.3%	7.0%	2.3%
	金管楽器	47	6.4%	34.0%	27.7%	19.1%	10.6%	2.1%

性別:「男性」は「501～1,000人」の割合が最も大きい。

年代:「20代」は「501～1,000人」と「1,001～1,500人」が同割合となっている。

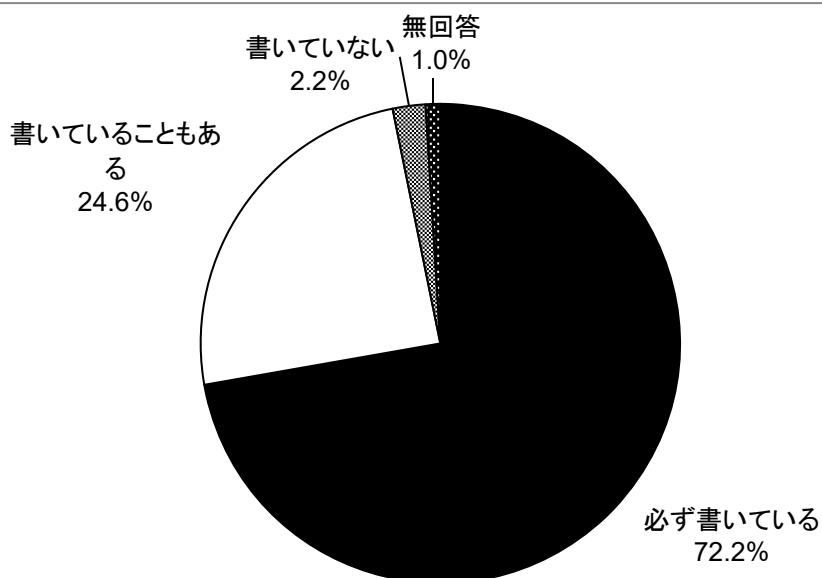
国籍:「日本」と「欧州」では「501～1,000人」、「北米」では「501～1,000人」の割合が最も大きい。

時期:「前期」は「1,001～1,500人」の割合が最も大きい。「後期」では「1,501～2,000人」の割合が最も大きい。

楽器:「ヴァイオリン」は「1,001～1,500人」と「1,501～2,000人」が同割合となっている。「弦楽器 (Vn以外)」と「金管楽器」は「501～1,000人」が最も割合が大きい。

(13) プロフィールへのPMFの記載

公表する自分のプロフィールにPMFに参加したことを書いているか聞いたところ、「必ず書いている」が72.2%で最も割合が大きく、「書いていることもある」が24.6%、「書いていない」が2.2%となっている。



(単位:%)

		Q8 あなたは公表する自分のプロフィールにPMFに参加したことを書いていますか。(SA)				
		合計	必ず書いている	書いていることもある	書いていない	無回答
全体		407	72.2%	24.6%	2.2%	1.0%
性別	男性	214	74.8%	22.4%	2.8%	0.0%
	女性	182	70.9%	27.5%	1.6%	0.0%
年代	20代	131	86.3%	13.7%	0.0%	0.0%
	30代	180	70.0%	28.9%	1.1%	0.0%
	40歳以上	84	59.5%	32.1%	8.3%	0.0%
国籍	日本	88	73.9%	25.0%	1.1%	0.0%
	アジア	53	79.2%	18.9%	1.9%	0.0%
	北米	133	61.7%	33.1%	5.3%	0.0%
	欧州	72	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	中南米・大洋州・多国籍	48	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	189	59.3%	35.4%	3.7%	1.6%
	後期 (2010以降)	218	83.5%	15.1%	0.9%	0.5%
	ヴァイオリン	100	69.0%	27.0%	2.0%	2.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	73.8%	23.8%	1.5%	0.8%
	木管楽器	75	76.0%	21.3%	1.3%	1.3%
	金管楽器	62	71.0%	27.4%	1.6%	0.0%

性別: 割合に大きな差はない。

年代: 割合に大きな差はないが、「20代」では「必ず書いている」が他の年代に比べて高い。

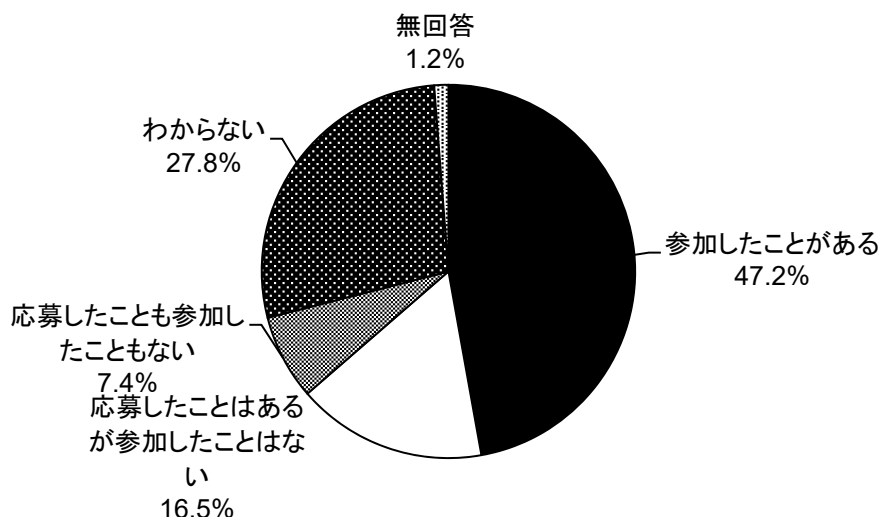
国籍: 割合に大きな差はないが、「北米」では「必ず書いている」が他のエリアよりも割合が小さい。

時期: 割合に大きな差はないが、「後期」では「必ず書いている」割合が大きくなっている。

楽器: 割合に大きな差はない。

(14) 教え子や同僚の応募や参加

「これまであなたの紹介で、教え子や同僚がPMFに応募したり、参加したことはありますか」と聞いたところ、「参加したことがある」は47.2%で、「わからない」が27.8%、「応募したことはあるが参加したことはない」が



(単位:%)

		Q9 これまであなたの紹介で、教え子や同僚がPMFに応募したり、参加したことはありますか。(SA)					
		合計	参加したことがある	応募したことはあるが参加したことはない	応募したことも参加したこともない	わからない	無回答
全体		407	47.2%	16.5%	7.4%	27.8%	1.2%
性別	男性	214	51.4%	14.0%	9.3%	25.2%	0.0%
	女性	182	42.9%	20.3%	5.5%	30.8%	0.5%
年代	20代	131	57.3%	19.1%	3.1%	20.6%	0.0%
	30代	180	43.3%	16.1%	10.0%	30.0%	0.6%
	40歳以上	84	41.7%	15.5%	9.5%	33.3%	0.0%
国籍	日本	88	42.0%	20.5%	5.7%	30.7%	1.1%
	アジア	53	45.3%	20.8%	7.5%	26.4%	0.0%
	北米	133	42.9%	12.0%	8.3%	36.8%	0.0%
	欧州	72	52.8%	22.2%	6.9%	18.1%	0.0%
	中南米・大洋州・多国籍	48	64.6%	12.5%	10.4%	12.5%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	189	39.2%	14.8%	11.1%	32.8%	2.1%
	後期 (2010以降)	218	54.1%	17.9%	4.1%	23.4%	0.5%
楽器	ヴァイオリン	100	57.0%	10.0%	3.0%	28.0%	2.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	47.7%	13.1%	11.5%	26.2%	1.5%
	木管楽器	75	45.3%	9.3%	9.3%	34.7%	1.3%
	金管楽器	62	41.9%	30.6%	3.2%	24.2%	0.0%

性別:割合に大きな差はない。

年代:割合に大きな差はない。

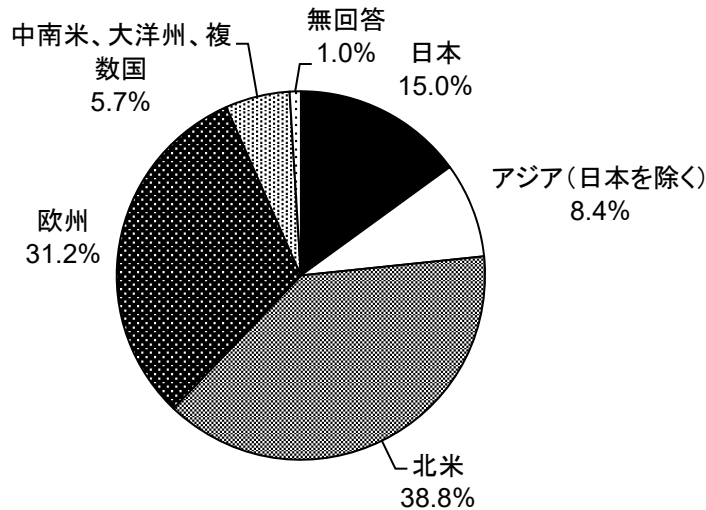
国籍:割合に大きな差はないが、「中南米・大洋州・多国籍」は「参加したことがある」が他の国籍エリアよりも割合が大きい。

時期:「後期」では「参加したことがある」が「前期」よりも割合が大きい。

楽器:割合に大きな差はない。

(15) 現在の活動拠点

現在の活動拠点の国と都市の回答（自由記述）を、5つのカテゴリーに集約したところ、「北米」が38.8%で最も割合が大きく、以下、「欧州」が31.2%、「日本」が15.0%、「アジア（日本を除く）」が8.4%、「中南米・大洋州・複数国」が5.7%となっている。



(単位:%)

		Q10 現在のあなたの活動拠点はどこですか。都市名と国名をご記入ください。						
		合計	日本	アジア（日本を除く）	北米	欧州	中南米、大洋州、複数国	無回答
全体		407	15.0%	8.4%	38.8%	31.2%	5.7%	1.0%
性別	男性	214	12.6%	7.9%	43.0%	30.4%	6.1%	0.0%
	女性	182	18.1%	9.3%	35.2%	32.4%	4.9%	0.0%
年代	20代	131	13.7%	6.1%	42.7%	35.1%	2.3%	0.0%
	30代	180	15.6%	10.6%	39.4%	28.3%	6.1%	0.0%
	40歳以上	84	16.7%	8.3%	33.3%	32.1%	9.5%	0.0%
国籍	日本	88	64.8%	1.1%	5.7%	27.3%	1.1%	0.0%
	アジア	53	1.9%	52.8%	28.3%	15.1%	1.9%	0.0%
	北米	133	0.8%	1.5%	91.0%	5.3%	1.5%	0.0%
	欧州	72	1.4%	4.2%	4.2%	88.9%	1.4%	0.0%
	中南米・大洋州・多国籍	48	0.0%	0.0%	22.9%	41.7%	35.4%	0.0%
時期	前期（2009以前）	189	18.0%	7.4%	38.1%	26.5%	8.5%	1.6%
	後期（2010以降）	218	12.4%	9.2%	39.4%	35.3%	3.2%	0.5%
	ヴァイオリン	100	14.0%	11.0%	44.0%	25.0%	4.0%	2.0%
	弦楽器（Vn以外）	130	14.6%	6.9%	38.5%	31.5%	7.7%	0.8%
	木管楽器	75	14.7%	5.3%	32.0%	40.0%	6.7%	1.3%
	金管楽器	62	14.5%	8.1%	41.9%	30.6%	4.8%	0.0%

性別: 割合に大きな差はない。

年代: 割合に大きな差はない。

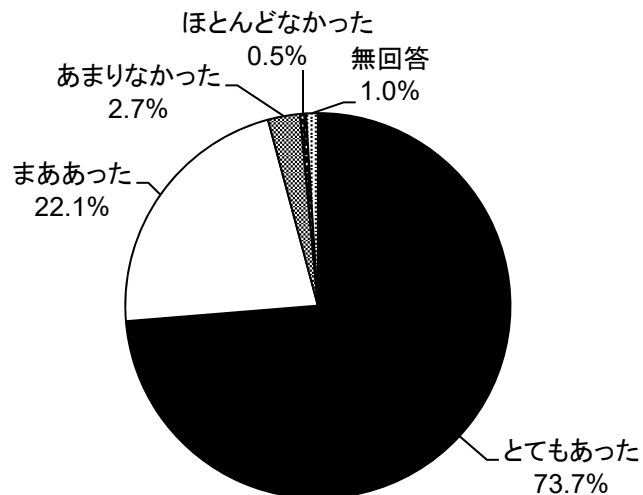
国籍: 現在の活動拠点は(PMF修了生自身の)国籍と重なっているが、国籍が「中南米・大洋州・多国籍」の場合は「欧州」の割合が最も大きくなっている。

時期: 割合に大きな差はない。

楽器: 「木管楽器」は「欧州」の割合が最も大きい。

(16) PMFの効果の度合い

PMFに参加したことが、その後の演奏能力の向上やキャリアアップに効果があったと思うかを聞いたところ、「とてもあった」が73.7%で最も割合が大きく、「まああった」が22.1%、「あまりなかった」が2.7%、「ほとんどなかった」が0.5%となっている。肯定的な評価（「とてもあった」＋「まああった」）は95.8%となっている。



(単位:%)

		Q11 あなたはPMFに参加したことが、その後の演奏能力の向上やキャリアアップに効果があったと思いますか。(SA)					
		合計	とてもあった	まああった	あまりなかった	ほとんどなかった	無回答
全体		407	73.7%	22.1%	2.7%	0.5%	1.0%
性別	男性	214	74.3%	22.0%	3.3%	0.5%	0.0%
	女性	182	74.7%	23.1%	1.6%	0.5%	0.0%
年代	20代	131	77.1%	22.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	180	73.9%	22.8%	2.8%	0.6%	0.0%
	40歳以上	84	71.4%	21.4%	6.0%	1.2%	0.0%
国籍	日本	88	76.1%	20.5%	3.4%	0.0%	0.0%
	アジア	53	77.4%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	北米	133	69.9%	25.6%	3.8%	0.8%	0.0%
	欧州	72	75.0%	23.6%	1.4%	0.0%	0.0%
	中南米・大洋州・多国籍	48	83.3%	12.5%	2.1%	2.1%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	189	72.0%	21.2%	4.8%	0.5%	1.6%
	後期 (2010以降)	218	75.2%	22.9%	0.9%	0.5%	0.5%
楽器	ヴァイオリン	100	72.0%	24.0%	1.0%	1.0%	2.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	70.8%	24.6%	3.1%	0.8%	0.8%
	木管楽器	75	74.7%	18.7%	5.3%	0.0%	1.3%
	金管楽器	62	83.9%	14.5%	1.6%	0.0%	0.0%

性別:割合に大きな差はない。

年代:割合に大きな差はない。

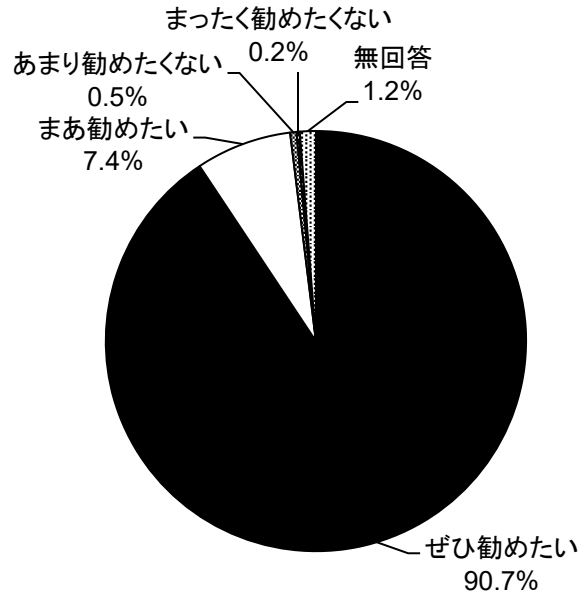
国籍:割合に大きな差はないが、「中南米・大洋州・多国籍」は「とてもあった」が他の国籍エリアよりも割合が大きい。

時期:割合に大きな差はない。

楽器:割合に大きな差はないが、「金管楽器」は「とてもあった」が他の楽器よりも割合が大きい。

(17) 若手音楽家にPMFへの参加を勧めるか

プロを目指す若手音楽家にPMFへの参加を勧めるか聞いたところ、「ぜひ勧めたい」が90.7%で最も割合が大きく、「まあ勧めたい」が7.4%、「あまり勧めたくない」が0.5%、「まったく勧めたくない」が0.2%となっている。肯定的な評価（「ぜひ勧めたい」+「まあ勧めたい」）は98.0%となっている。



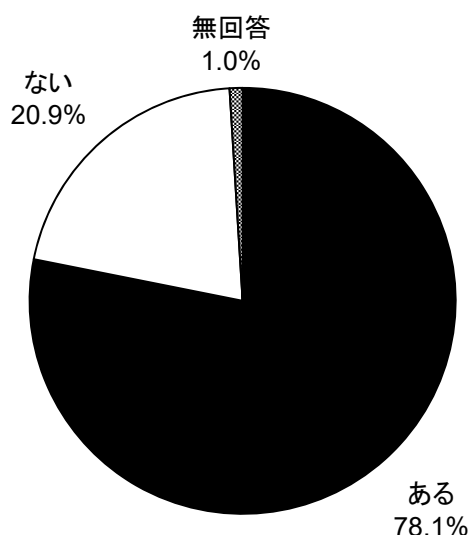
(単位: %)

		Q12 あなたは、プロを目指す若手音楽家に、PMFへの参加を勧めますか。(SA)					
		合計	ぜひ勧めたい	まあ勧めたい	あまり勧めたくない	まったく勧めたくない	無回答
全体		407	90.7%	7.4%	0.5%	0.2%	1.2%
性別	男性	214	93.9%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	182	89.0%	8.8%	1.1%	0.5%	0.5%
年代	20代	131	90.8%	9.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	180	95.0%	3.9%	0.6%	0.0%	0.6%
	40歳以上	84	85.7%	11.9%	1.2%	1.2%	0.0%
国籍	日本	88	87.5%	11.4%	1.1%	0.0%	0.0%
	アジア	53	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	北米	133	89.5%	9.0%	0.8%	0.8%	0.0%
	欧州	72	93.1%	5.6%	0.0%	0.0%	1.4%
	中南米・大洋州・多国籍	48	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	189	90.5%	6.3%	1.1%	0.5%	1.6%
	後期 (2010以降)	218	90.8%	8.3%	0.0%	0.0%	0.9%
	ヴァイオリン	100	87.0%	10.0%	1.0%	0.0%	2.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	89.2%	9.2%	0.8%	0.0%	0.8%
	木管楽器	75	93.3%	2.7%	0.0%	1.3%	2.7%
	金管楽器	62	95.2%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%

性別: 割合に大きな差はない。
 年代: 割合に大きな差はない。
 国籍: 割合に大きな差はないが、「アジア」は「ぜひ勧めたい」が100%となっている。
 時期: 割合に大きな差はない。
 楽器: 割合に大きな差はない。

(18) PMF以外の教育音楽祭への参加経験

これまでPMF以外の教育音楽祭に参加したことがあるか聞いたところ、「ある」が78.1%、「ない」が20.9%となっている。



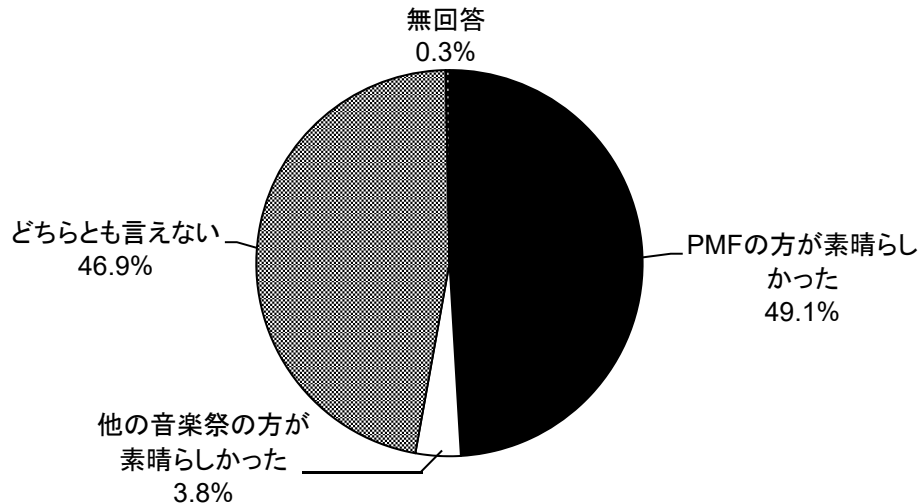
(単位:%)

		Q13 あなたは、これまでPMF以外の教育音楽祭に参加したことがありますか。(SA)			
		合計	ある	ない	無回答
全体		407	78.1%	20.9%	1.0%
性別	男性	214	80.8%	19.2%	0.0%
	女性	182	76.4%	23.6%	0.0%
年代	20代	131	76.3%	23.7%	0.0%
	30代	180	80.0%	20.0%	0.0%
	40歳以上	84	81.0%	19.0%	0.0%
国籍	日本	88	52.3%	47.7%	0.0%
	アジア	53	83.0%	17.0%	0.0%
	北米	133	94.7%	5.3%	0.0%
	欧州	72	76.4%	23.6%	0.0%
	中南米・大洋州・多国籍	48	81.3%	18.8%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	189	79.9%	18.5%	1.6%
	後期 (2010以降)	218	76.6%	22.9%	0.5%
楽器	ヴァイオリン	100	81.0%	17.0%	2.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	80.8%	18.5%	0.8%
	木管楽器	75	74.7%	24.0%	1.3%
	金管楽器	62	77.4%	22.6%	0.0%

性別:割合に大きな差はない。
 年代:割合に大きな差はない。
 国籍:割合に大きな差はないが、「北米」は「ある」が他の国籍エリアよりも割合が大きい。
 時期:割合に大きな差はない。
 楽器:割合に大きな差はない。

(19) PMFと他の教育音楽祭との評価の比較

これまでPMF以外の教育音楽祭に参加したことが「ある」と回答した人に、それらの音楽祭と比較して、PMFに対するあなたの総合的な評価を聞いたところ、「PMFの方が素晴らしかった」が49.1%、「どちらとも言えない」が46.9%、「他の音楽祭の方が素晴らしかった」が3.8%となっている。



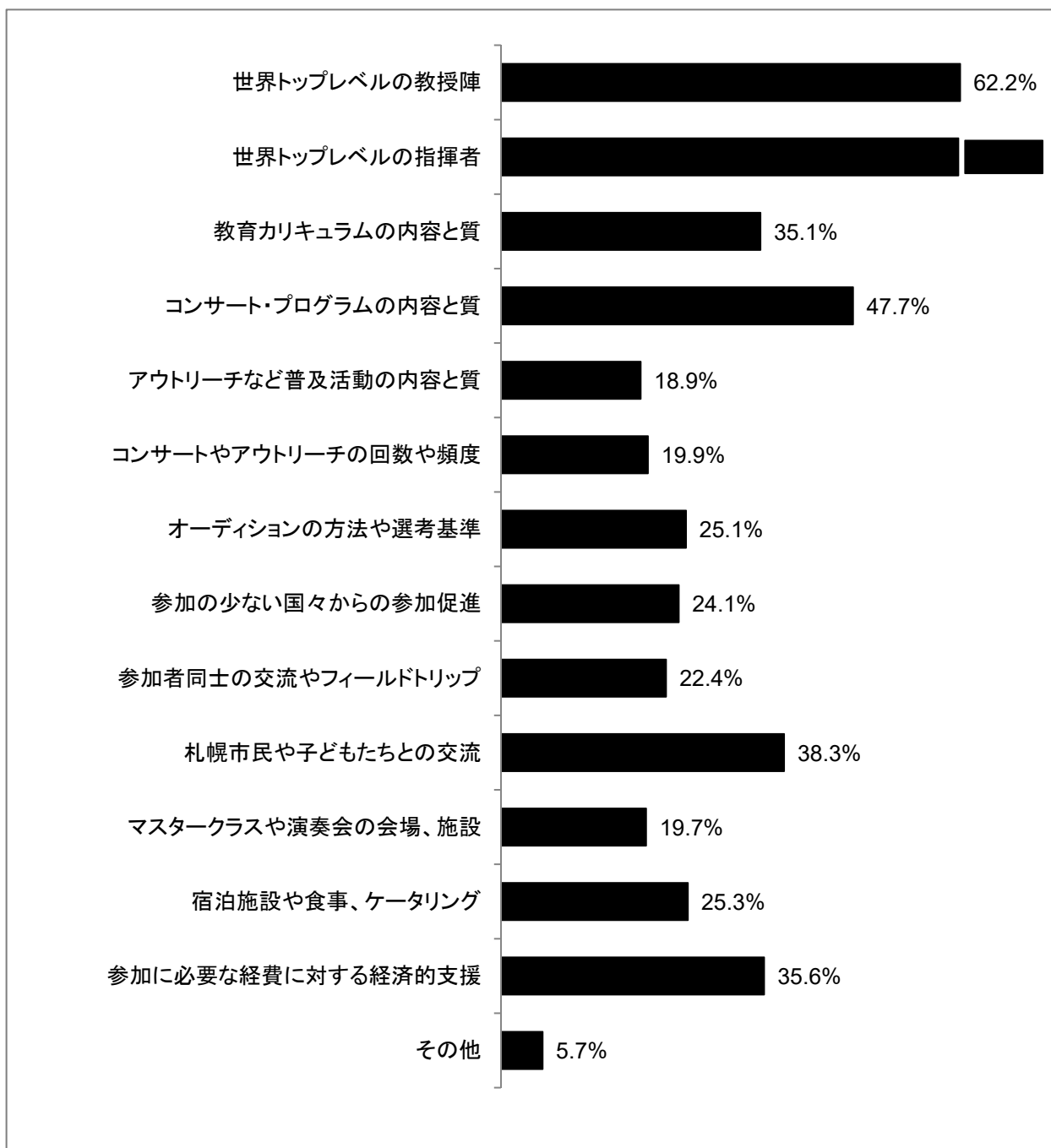
(単位:%)

		SQ13.1 それらの音楽祭と比較して、PMFに対するあなたの総合的な評価をお答えください。(SA)				
		合計	PMFの方が素晴らしかった	他の音楽祭の方が素晴らしかった	どちらとも言えない	無回答
全体		318	49.1%	3.8%	46.9%	0.3%
性別	男性	173	50.3%	4.6%	45.1%	0.0%
	女性	139	48.2%	2.9%	48.9%	0.0%
年代	20代	100	55.0%	2.0%	43.0%	0.0%
	30代	144	45.1%	4.2%	50.7%	0.0%
	40歳以上	68	48.5%	5.9%	45.6%	0.0%
国籍	日本	24	52.2%	2.2%	45.7%	0.0%
	アジア	23	52.3%	0.0%	47.7%	0.0%
	北米	61	48.4%	7.1%	44.4%	0.0%
	欧州	26	47.3%	3.6%	49.1%	0.0%
	中南米・大洋州・多国籍	19	48.7%	0.0%	51.3%	0.0%
時期	前期 (2009以前)	151	45.7%	5.3%	49.0%	0.0%
	後期 (2010以降)	167	52.1%	2.4%	44.9%	0.6%
楽器	ヴァイオリン	81	48.1%	6.2%	45.7%	0.0%
	弦楽器 (Vn以外)	105	45.7%	3.8%	50.5%	0.0%
	木管楽器	56	50.0%	5.4%	44.6%	0.0%
	金管楽器	48	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%

性別:「女性」では「どちらとも言えない」が最も大きな割合となっている。
 年代:「30代」では「どちらとも言えない」が最も大きな割合となっている。
 国籍:「欧州」と「中南米・大洋州・多国籍」では「どちらとも言えない」が最も大きな割合となっている。
 時期:「前期」では「どちらとも言えない」が最も大きな割合となっている。
 楽器:「弦楽器 (Vn以外)」では「どちらとも言えない」が最も大きな割合となっている。

(20) PMFが重視・強化すべきこと(複数回答)

今後、PMFが重視・強化すべきものを選択肢を提示して複数回答で聞いたところ、「世界トップレベルの教授陣」が62.2%で最も割合が大きく、以下、「世界トップレベルの指揮者」が61.9%、「コンサート・プログラムの内容と質」が47.7%、「札幌市民や子どもたちとの交流」が38.3%、「参加に必要な経費に対する経済的支援」が35.6%、「教育カリキュラムの内容と質」が35.1%となっている。



(20) PMFが重視・強化すべきこと(複数回答)

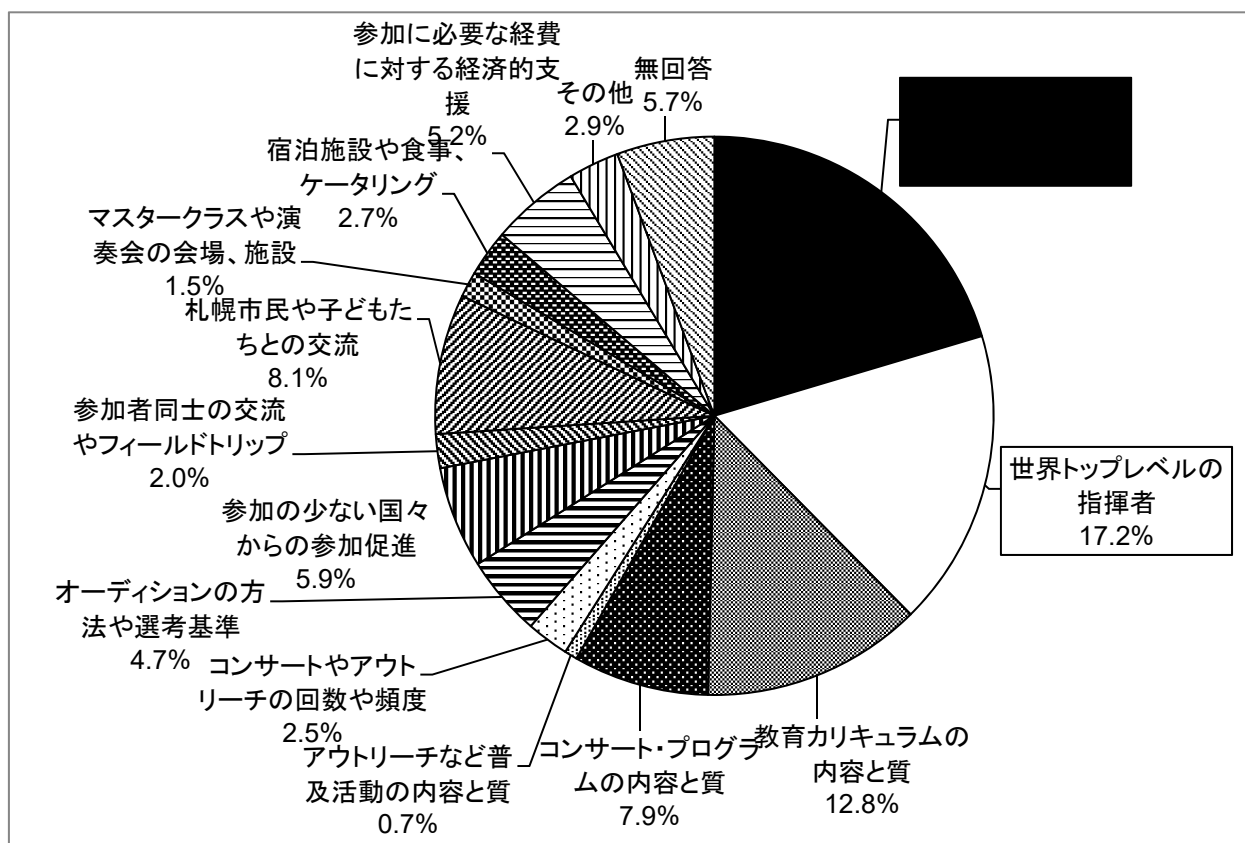
(単位:%)

		Q14 今後、PMFが重視・強化すべきものは何だと思いますか。(MA)							
		合計	世界トップレベルの教授陣	世界トップレベルの指揮者	教育カリキュラムの内容と質	コンサート・プログラムの内容と質	アウトリーチなど普及活動の内容と質	コンサートやアウトリーチの回数や頻度	オーディションの方法や選考基準
全体		407	62.2%	61.9%	35.1%	47.7%	18.9%	19.9%	25.1%
性別	男性	214	67.8%	67.3%	32.7%	50.9%	22.9%	22.4%	28.5%
	女性	182	58.8%	58.8%	39.6%	46.2%	14.8%	18.1%	22.5%
年代	20代	131	58.0%	53.4%	38.9%	49.6%	18.3%	22.1%	27.5%
	30代	180	64.4%	65.6%	33.3%	46.7%	22.8%	20.0%	29.4%
	40歳以上	84	71.4%	76.2%	38.1%	53.6%	14.3%	19.0%	15.5%
国籍	日本	88	64.8%	54.5%	58.0%	48.9%	17.0%	19.3%	27.3%
	アジア	53	56.6%	64.2%	35.8%	41.5%	26.4%	26.4%	39.6%
	北米	133	72.9%	72.2%	31.6%	58.6%	16.5%	21.8%	20.3%
	欧州	72	51.4%	50.0%	22.2%	38.9%	20.8%	20.8%	26.4%
	中南米・大洋州・多国籍	48	60.4%	72.9%	29.2%	47.9%	22.9%	12.5%	18.8%
時期	前期(2009以前)	189	71.4%	70.4%	34.4%	49.7%	19.6%	19.0%	24.3%
	後期(2010以降)	218	53.7%	54.1%	35.3%	45.9%	18.3%	20.6%	25.7%
楽器	ヴァイオリン	100	59.0%	66.0%	37.0%	43.0%	18.0%	12.0%	24.0%
	弦楽器(Vn以外)	130	68.5%	63.1%	37.7%	47.7%	16.2%	19.2%	24.6%
	木管楽器	75	61.3%	58.7%	33.3%	48.0%	17.3%	24.0%	17.3%
	金管楽器	62	58.1%	59.7%	32.3%	58.1%	32.3%	29.0%	35.5%
		合計	参加の少ない国々からの参加促進	参加者同士の交流やフィールドトリップ	札幌市民や子どもたちとの交流	マスタークラスや演奏会の会場、施設	宿泊施設や食事、ケータリング	参加に必要な経費に対する経済的支援	その他
全体		407	24.1%	22.4%	38.3%	19.7%	25.3%	35.6%	5.7%
性別	男性	214	26.6%	24.3%	41.6%	22.4%	29.4%	41.6%	6.1%
	女性	182	22.0%	21.4%	36.8%	17.6%	22.0%	30.8%	5.5%
年代	20代	131	21.4%	24.4%	40.5%	24.4%	28.2%	35.1%	6.9%
	30代	180	28.3%	24.4%	41.1%	20.0%	28.3%	40.6%	4.4%
	40歳以上	84	22.6%	17.9%	33.3%	14.3%	17.9%	31.0%	7.1%
国籍	日本	88	11.4%	19.3%	33.0%	17.0%	19.3%	34.1%	1.1%
	アジア	53	28.3%	28.3%	32.1%	28.3%	34.0%	34.0%	1.9%
	北米	133	25.6%	26.3%	42.1%	21.1%	36.1%	48.9%	6.8%
	欧州	72	37.5%	22.2%	40.3%	16.7%	9.7%	15.3%	12.5%
	中南米・大洋州・多国籍	48	25.0%	14.6%	50.0%	18.8%	25.0%	41.7%	6.3%
時期	前期(2009以前)	189	26.5%	19.6%	34.9%	16.9%	23.3%	39.2%	4.8%
	後期(2010以降)	218	22.0%	24.3%	41.3%	21.6%	26.6%	32.6%	6.4%
楽	ヴァイオリン	100	27.0%	22.0%	44.0%	18.0%	26.0%	39.0%	3.0%
	弦楽器(Vn以外)	130	25.4%	18.5%	32.3%	22.3%	24.6%	36.2%	5.4%
	木管楽器	75	18.7%	26.7%	38.7%	22.7%	33.3%	36.0%	8.0%
	金管楽器	62	27.4%	27.4%	43.5%	11.3%	17.7%	33.9%	6.5%

性別:「女性」は「世界トップレベルの教授陣」と「世界トップレベルの指揮者」が同割合となっている。
 年代:「30代」と「40歳以上」は「世界トップレベルの指揮者」の割合が最も大きい。
 国籍:「アジア」と「中南米・大洋州・多国籍」は「世界トップレベルの指揮者」の割合が最も大きい。
 時期:「後期」は「世界トップレベルの指揮者」の割合が最も大きい。
 楽器:「ヴァイオリン」と「金管楽器」は「世界トップレベルの指揮者」の割合が最も大きい。

(21) PMFが最も重視・強化すべきこと

今後、PMFが最も重視・強化すべきものを選択肢からひとつだけ選んでもらったところ、「世界トップレベルの教授陣」が20.4%、次いで「世界トップレベルの指揮者」が17.2%、「教育カリキュラムの内容と質」が12.8%となっている。



性別:「女性」は「世界トップレベルの指揮者」の割合が最も大きい。

年代:「20代」は「教育カリキュラムの内容と質」、「40歳以上」は「世界トップレベルの指揮者」の割合が最も大きい。

国籍:「日本」は「教育カリキュラムの内容と質」、「アジア」と「欧州」は「世界トップレベルの指揮者」の割合が最も大きい。

時期:「後期」は「教育カリキュラムの内容と質」の割合が最も大きい。

楽器:「ヴァイオリン」は「教育カリキュラムの内容と質」、「木管楽器」は「世界トップレベルの指揮者」の割合が最も大きい。

(21) PMFが最も重視・強化すべきこと

(単位:%)

		SQ14.1 Q14で選んだもののうち、あなたが最も重視すべきだと思うものをひとつ選んでその番号を記入してください。(SA)								
		合計	世界トップレベルの教授陣	世界トップレベルの指揮者	教育カリキュラムの内容と質	コンサート・プログラムの内容と質	アウトリーチなど普及活動の内容と質	コンサートやアウトリーチの回数や頻度	オーディションの方法や選考基準	参加の少ない国々からの参加促進
全体		407	20.4%	17.2%	12.8%	7.9%	0.7%	2.5%	4.7%	5.9%
性別	男性	214	26.2%	14.0%	11.7%	6.5%	0.9%	1.9%	6.5%	7.0%
	女性	182	14.8%	21.4%	14.8%	9.9%	0.5%	3.3%	2.7%	4.9%
年代	20代	131	14.5%	14.5%	17.6%	9.9%	0.0%	1.5%	5.3%	6.9%
	30代	180	25.0%	16.7%	12.2%	7.8%	1.7%	3.9%	5.0%	6.1%
	40歳以上	84	22.6%	25.0%	8.3%	6.0%	0.0%	1.2%	3.6%	4.8%
国籍	日本	88	15.9%	17.0%	29.5%	10.2%	0.0%	2.3%	4.5%	1.1%
	アジア	53	13.2%	22.6%	5.7%	7.5%	0.0%	5.7%	9.4%	7.5%
	北米	133	27.1%	11.3%	9.8%	10.5%	1.5%	3.0%	3.0%	6.0%
	欧州	72	16.7%	27.8%	4.2%	5.6%	0.0%	0.0%	8.3%	11.1%
	中南米・大洋州・多国籍	48	29.2%	16.7%	14.6%	2.1%	2.1%	2.1%	0.0%	6.3%
時期	前期 (2009以前)	189	24.3%	22.8%	7.4%	7.4%	1.1%	2.6%	4.2%	4.8%
	後期 (2010以降)	218	17.0%	12.4%	17.4%	8.3%	0.5%	2.3%	5.0%	6.9%
楽器	ヴァイオリン	100	15.0%	18.0%	20.0%	6.0%	1.0%	2.0%	4.0%	2.0%
	弦楽器 (Vn以外)	130	22.3%	17.7%	10.8%	8.5%	0.8%	1.5%	4.6%	8.5%
	木管楽器	75	18.7%	22.7%	8.0%	9.3%	1.3%	1.3%	2.7%	5.3%
	金管楽器	62	27.4%	9.7%	9.7%	4.8%	0.0%	4.8%	8.1%	8.1%
		合計	参加者同士の交流やフィードバック	札幌市民や子どもたちとの交流	マスタークラスや演奏会の会場、施設	宿泊施設や食事、ケータリング	参加に必要な経費に対する経済的支援	その他	無回答	
全体		407	2.0%	8.1%	1.5%	2.7%	5.2%	2.9%	5.7%	
性別	男性	214	1.9%	8.4%	0.9%	4.2%	4.7%	2.8%	2.3%	
	女性	182	2.2%	8.2%	2.2%	1.1%	6.0%	3.3%	4.4%	
年代	20代	131	1.5%	9.2%	2.3%	4.6%	5.3%	3.1%	3.8%	
	30代	180	2.8%	7.8%	0.6%	2.2%	4.4%	1.7%	2.2%	
	40歳以上	84	1.2%	7.1%	2.4%	1.2%	7.1%	6.0%	3.6%	
国籍	日本	88	0.0%	6.8%	3.4%	1.1%	5.7%	1.1%	1.1%	
	アジア	53	3.8%	3.8%	0.0%	5.7%	5.7%	0.0%	9.4%	
	北米	133	3.0%	6.0%	0.8%	4.5%	6.0%	4.5%	3.0%	
	欧州	72	2.8%	13.9%	1.4%	0.0%	1.4%	5.6%	1.4%	
	中南米・大洋州・多国籍	48	0.0%	12.5%	2.1%	2.1%	8.3%	2.1%	0.0%	
時期	前期 (2009以前)	189	2.6%	5.8%	1.6%	0.5%	6.9%	2.6%	5.3%	
	後期 (2010以降)	218	1.4%	10.1%	1.4%	4.6%	3.7%	3.2%	6.0%	
	ヴァイオリン	100	1.0%	8.0%	2.0%	5.0%	8.0%	1.0%	7.0%	
	弦楽器 (Vn以外)	130	2.3%	6.2%	1.5%	1.5%	3.8%	3.1%	6.9%	
	木管楽器	75	2.7%	8.0%	2.7%	2.7%	5.3%	4.0%	5.3%	
	金管楽器	62	3.2%	9.7%	0.0%	3.2%	6.5%	3.2%	1.6%	

PMF 修了生へのアンケート調査 | Questionnaire to PMF Alumni

Q 1 あなたは何年の PMF に参加しましたか。(☑はいくつでも)

- | | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| ☐ 1990 | ☐ 1991 | ☐ 1992 | ☐ 1993 | ☐ 1994 |
| ☐ 1995 | ☐ 1996 | ☐ 1997 | ☐ 1998 | ☐ 1999 |
| ☐ 2000 | ☐ 2001 | ☐ 2002 | ☐ 2003 | ☐ 2004 |
| ☐ 2005 | ☐ 2006 | ☐ 2007 | ☐ 2008 | ☐ 2009 |
| ☐ 2010 | ☐ 2011 | ☐ 2012 | ☐ 2013 | ☐ 2014 |
| ☐ 2015 | ☐ 2016 | ☐ 2017 | ☐ 2018 | |

Q 2 あなたはどのコース、パートに参加しましたか。(☑はひとつ)

Orchestra Academy

- | | | | | |
|-----------------------------------|--|----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| ☐ Violin | ☐ Viola | ☐ Cello | ☐ Double Bass | ☐ Flute |
| ☐ Oboe | ☐ Clarinet | ☐ Bassoon | ☐ Horn | ☐ Trumpet |
| ☐ Trombone | ☐ Bass Trombone | ☐ Tuba | ☐ Percussion | ☐ Harp |

-
- | | | |
|--|--|---|
| ☐ Vocal | ☐ Piano/Keyboards | ☐ String Quartet |
| ☐ Conducting | ☐ Composing | ☐ Asian Fellowship Program |
| ☐ Junior Fellowship Program | | |

Q 3 PMF に参加した時、あなたはどんな音楽活動をしていましたか。複数回参加した場合は、初めて参加したときのことをお答えください。(☑はひとつ)

- | | |
|--|---|
| ☐ 大学や音楽学校で学んでいた | ☐ アマチュアのオーケストラや吹奏楽団で活動していた |
| ☐ プロのオーケストラや吹奏楽団で活動していた | ☐ ユース・オーケストラで活動していた |
| ☐ アマチュアの合唱団で活動していた | ☐ プロの合唱団で活動していた |
| ☐ 室内楽団で活動していた | ☐ フリーランスの音楽家として活動していた |
| ☐ その他（具体的に | ） |

Q 4 PMF に参加した時、あなたの活動拠点はどこでしたか。都市名と国名をご記入ください。複数回参加した場合は、初めて参加したときのことをお答えください。

都市名

国名

Q 5 あなたが PMF に参加しようと思った動機は何ですか。(☑はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1 ☐ 演奏力や歌唱力を高めたかったから | 2 ☐ プロの音楽家になるきっかけを見つけたかったから |
| 3 ☐ 教授陣が魅力的だったから | 4 ☐ 指揮者が魅力的だったから |
| 5 ☐ 教育カリキュラムが魅力的だったから | 6 ☐ コンサート・プログラムが魅力的だったから |
| 7 ☐ アウトリーチなどのプログラムが魅力的だったから | 8 ☐ バーンスタインの創設した教育音楽祭だから |
| 9 ☐ 世界各国の参加者に出会いたかったから | 10 ☐ 札幌・日本に行ってみたかったから |
| 11 ☐ 交通費や滞在費など経費がかからないから | |
| 12 ☐ その他（具体的に | ） |

SQ5.1 Q5で選んだ動機のうち、あなたが最も重視したものをひとつ選んでその番号を記入してください。

Q 6 あなたは PMF に参加して期待した成果は得られましたか。(☑はひとつ)

- | | |
|--|---|
| ☐ 十分な成果が得られた | ☐ まあまあの成果が得られた |
| ☐ 成果はあまり得られなかった | ☐ 成果はほとんど得られなかった |

Q7 現在、あなたはどんな音楽活動をしていますか。最も中心的なものをお選びください。(☑はひとつ)

- | | |
|---|--|
| ☐ 大学や音楽学校で音楽を学んでいる | ☐ 大学や音楽学校で教鞭を執っている |
| ☐ プロのオーケストラや吹奏楽団で活動している (SQ7.1-7.4へ) | |
| ☐ アマチュアのオーケストラや吹奏楽団で活動している | ☐ ユース・オーケストラで活動している |
| ☐ プロの合唱団で活動している | ☐ アマチュアの合唱団で活動している |
| ☐ プロのオペラ団で活動している | ☐ アマチュアのオペラ団で活動している |
| ☐ 室内楽団で活動している | ☐ フリーランスの音楽家として活動している |
| ☐ オーケストラの Director、指揮者として活動している | ☐ 作曲家として活動している |
| ☐ 音楽活動は行っていない | ☐ その他 (具体的に) |

Q7でプロのオーケストラで活動していると答えられた方は、SQ7-1～7-4にお答えください

SQ7.1 あなたが所属しているオーケストラの名前を記入してください。

--

SQ7.2 あなたのポジションで該当するものをお選びください。(☑はひとつ)

- ☐ Concertmaster ☐ Principal ☐ Co/Associate Principal ☐ Tutti

SQ7.3 2018年シーズンに、所属オーケストラで何回ぐらいの演奏会(アウトリーチや教育活動を除く)に出演しましたか。(☑はひとつ)

- ☐ less than 25 ☐ 26 - 50 ☐ 51 - 75 ☐ 76 - 100
☐ 101 and over

SQ7.4 その演奏会の聴衆は、1回当たり平均で何人ぐらいでしたか。(☑はひとつ)

- ☐ less than 500 ☐ 501 - 1,000 ☐ 1,001-1,500 ☐ 1,501 - 2,000
☐ 2,001 and over

Q8 あなたは公表する自分のプロフィールに PMF に参加したことを書いていますか。

- ☐ 必ず書いている ☐ 書いていることもある ☐ 書いていない

Q9 これまであなたの紹介で、教え子や同僚が PMF に応募したり、参加したことはありますか。

- ☐ 参加したことがある ☐ 応募したことはあるが参加したことはない
☐ 応募したことも参加したこともない ☐ わからない

Q10 現在のあなたの活動拠点はどこですか。都市名と国名をご記入ください。

都市名		国名	
-----	--	----	--

Q11 あなたは PMF に参加したことが、その後の演奏能力の向上やキャリアアップに効果があったと思いますか。(☑はひとつ)

- ☐ とてもあった ☐ まああった ☐ あまりなかった ☐ ほとんどなかった

Q12 あなたは、プロを目指す若手音楽家に、PMF への参加を勧めますか。(☑はひとつ)

- ☐ ぜひ勧めたい ☐ まあ勧めたい ☐ あまり勧めたくない ☐ まったく勧めたくない

Q13 あなたは、これまで PMF 以外の教育音楽祭に参加したことがありますか。(☑はひとつ)

- ☐ ある (SQ13.1へ) ☐ ない

SQ13.1 それらの音楽祭と比較して、PMF に対するあなたの総合的な評価をお答えください。(☑はひとつ)

- ☐ PMF の方が素晴らしかった ☐ 他の音楽祭の方が素晴らしかった ☐ どちらとも言えない

Q14 今後、PMF が重視・強化すべきものは何だと思いますか。(☑はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1☐ 世界トップレベルの教授陣 | 2☐ 世界トップレベルの指揮者 |
| 3☐ 教育カリキュラムの内容と質 | 4☐ コンサート・プログラムの内容と質 |
| 5☐ アウトリーチなど普及活動の内容と質 | 6☐ コンサートやアウトリーチの回数や頻度 |
| 7☐ オーディションの方法や選考基準 | 8☐ 参加の少ない国々からの参加促進 |
| 9☐ 参加者同士の交流やフィールドトリップ | 10☐ 札幌市民や子どもたちとの交流 |
| 11☐ マスタークラスや演奏会の会場、施設 | 12☐ 宿泊施設や食事、ケータリング |
| 13☐ 参加に必要な経費に対する経済的支援 | |
| 14☐ その他（具体的に_____） | |

SQ14.1 Q14で選んだもののうち、あなたが最も重視すべきだと思うものをひとつ選んでその番号を記入してください。

Q15 これからの PMF のビジョンや事業、運営等についてご意見や提案があれば自由にご記入下さい。

Q16 最後にあなたの現在の年齢、性別、国籍をご記入下さい。

年齢

☐ 男性

☐ 女性

☐ その他

国籍（英語で）

PMF 将来ビジョン策定に係る調査業務
報告書(抜粋)

発行 2020年3月

委託 公益財団法人
パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会
〒060-0052 札幌市中央区南2条東1丁目1-14
住友生命札幌中央ビル1階
TEL:011-242-2211
FAX:011-242-1687

受託 株式会社ニッセイ基礎研究所
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-7
TEL 03-3512-1799
FAX 03-5211-1084
